

特250

856

兒童繪本出版協會主催  
回座談會

「漫畫繪本に就て」の座談會速記録

昭和十四年五月廿三日午後一時半開始  
於東京神田學士會館

始





230  
836

### 「コドモ繪本を良くする座談會」開催に際して

コドモ繪本が今日程世上關心の的となつたことは嘗て見ない處であります。これは要するに我國の文化が漸く大衆に浸潤し、殊に長期建設の唱へらるる今日、一般に兒童文化の向上が強調せられねばならぬ時勢となつたからだと思ひます。

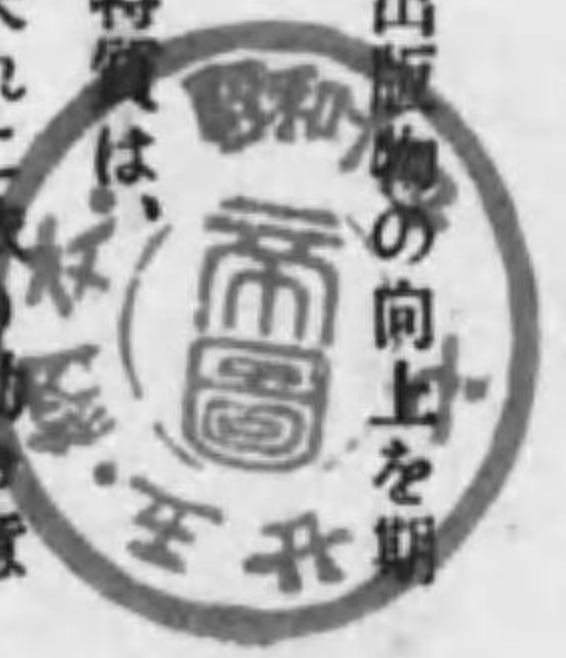
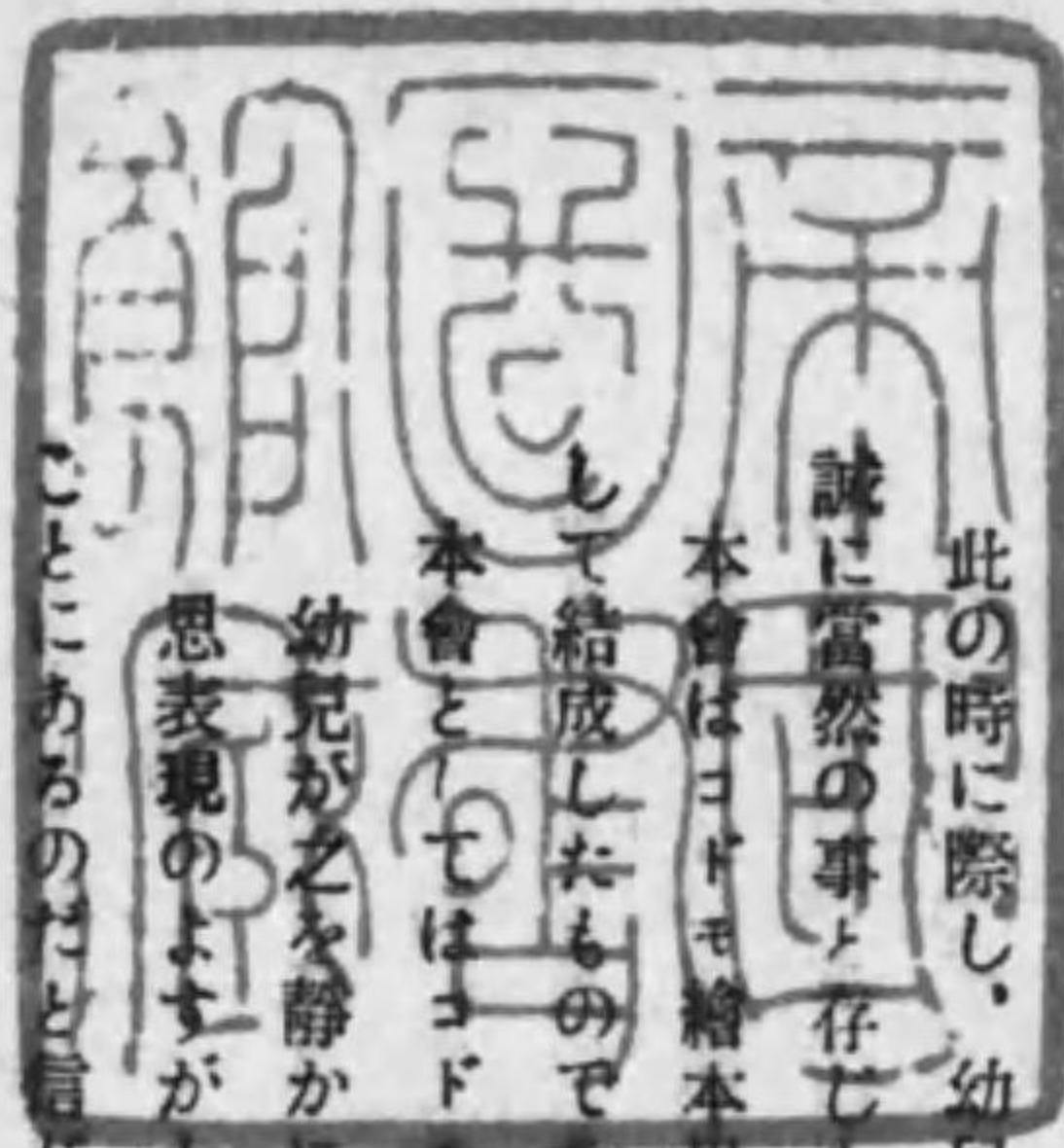
此の時に際し、幼児育成上コドモ繪本の使命とその重要性とが、世上に認識せられて來たのは誠に當然の事と存じます。

本會はコドモ繪本出版業者が、その文化的使命の重大なるを自認し、會員の出版物の向上を期して結成したものであります。

本會としてコドモ繪本が、その兒童文化に寄與すべき分野に於て持つ處の特質は、幼児が之を靜かに観ることに依り、幼児の思考を形成し、感情を誘發し、夫れに依り幼き意思表現のよすがとなる。

ことあるの如く居ります。

此の特質の具現化に向つて本會員は邁進せんと努めて居ります。併し之は我々微力なる會員の努力研究のみによつては、到底成し遂げらるるものではありません。





二  
ん。而も世上五錢、十錢の繪本さへ、容易には求め得ぬ人々が如何に多いかを考へる時、低廉なる値の繪本に於ても、此のコードモ繪本としての任務を果さん爲めには、會員としても今後重大なる決意を以て事に當らねばならぬのであり、此等が彼此複雑なる問題を生じ、一朝一夕にその理想實現を期することは出来ぬと存じます。

此に鑑み本會は世上兒童文化に關心を持たるる有識の方々、又よき御兩親方、及び御當局の御後援を得て、標記座談會を開き、本會の目的遂行に資せんと企圖致して居るのであります。

今日コードモ漫畫の問題は、世上又業者としても、最も喫緊事であると思ひますので、その座談會の最初に此の問題を掲げたのであります。

幸ひ識者方の御賛同を得て、後記の通り有益なる座談會を開く事を得ました事を、深く感謝致す次第であります。

尙本會の試みとして豫定致して居りますのは、

- 一 兒童研究家の立場より
- 二 幼兒教育の立場より
- 三 兒童心理の立場より
- 四 道徳の立場より

五 科學の立場より

六 國語の立場より

七 家庭に於ける取扱上より

コードモ繪本を良くする座談會を逐次開き、その完璧を期し度いと存じて居ります。要するに教養ある兩親の撰擇にも答へ得る、又良きナースとなつて、純なる幼き心意の芽生えを育て得るコードモ繪本の出現を、希つての企圖であります。それが我が國民の誰にでも、安易に入手し得るコードモ繪本たる事を念願とする外他意ないのであります。

世上有識の方々、よき子の成人を念ぜらるゝ御兩親方が、本會の主旨を諒とせられ今後共本會に叱咤と御後援とを賜り、本會の此の企圖が、コードモ繪本理想具現の一里塚ともならんことを祈つて已まないであります。

昭和十四年五月

日本兒童繪本出版協會



出席者 (いろは順)

漫 畫 家	池 部 鈞	東京組合病院 醫師	五 味 松 樹
東京文理科大學 講師	波 多 野 完 治	頌榮女學校教頭	酒 井 朝 彦
童 畫 家	初 山 滋	文 部 省 童話作家	阪 本 越 郎
日 本 畫 家	西 澤 笛 畝	漫 畫 家	宮 尾 し げ を
漫 畫 家	新 關 健 之 介	童 話 作 家	水 谷 ま さ る
日比谷小學校	村 野 孫 太 郎	關西兒童繪本 卸業協會理事	家 村 吉 兵 衛
日本女子大學	氏 家 壽 子	三 越 書 籍 部	内 田 喜 作
厚生省社會局 兒童課	大 場 昇 一	同	玉 井 涼 平
東京兒童愛護聯盟	松 前 福 廣	日本兒童繪本	出版協會々員
傷兵保護院	山 根 緝 一 郎		

「漫畫繪本に就て」の座談會速記録 (\*印は本會會員)

金井 大變お待たせ致しました。本日はお忙しい所を皆様お集り下さいまして有難うございました。一寸此の座談會を私共の會として催しましたに付て一言御挨拶申上げたいと思ひます。子供漫畫繪本、又安い繪本が大變世間の問題になつて参りましたので、私共出版業者と致しまして、良い繪本を作りたいといふ心持から、日本子ども繪本出版協會といふものを東京、大阪の出版業者が寄集りまして、又た當局のお力添もあり、世の識者方の御後援もありまして、去る三月に發會式を挙げたのでございます。それに付て自分達で色々考へますには、どうしても子供繪本といふものは業者と作家委せにして今までのやうに拵へて居つたのではどうしてもいけません。それが爲には、まあ言つて見れば、繪本の理想といふものを立てて、それに向つて業者、作家が邁進して行かなくてはならないのだらう、斯ういふ風に考へまして、其の考へに従ひまして、子供の繪本が子供を育てる上に非常に必要だといふことを世間でも認めて居るのでございますから、それらの御専門家又は識者の方々に色々お話を願つて少しでも子供を良くするさういふ座談會を開いて行つて、それが私共出版業者又作家の方々の幾分の爲にでもなれば、







の内に居なくてもいゝやうな、唯時間や何かの調節を圖つて行くやうな進行係にさして戴きたいと思ひます。それでございますから、お茶を飲みお菓子を摘みながら、くつろいでどん／＼話をお進め戴きたいと思ひます。それで初の問題を出さないと、一寸お話をして戴くの具合が悪いだらうと思ひますから、一寸私から疑問に思つて居りますことを例に取つて話の種を出して見たいと思ひます。

私漫画といふ問題をよく考へて居りますと、どうも童書と漫画といふやうな問題が、何處までが漫画であり、何處までが童書であるか、或は繪物語といふやうな問題と連続漫画といふものと、其の限度がどうなるのか、私にはよく分らないのであります。或る所で近頃ともいふ漫画が出来たといふことで、其の漫画の繪本を見せて戴くと、どうも私は是が漫画といふ言葉で説明出来るのか、或は是は繪物語といつたものか、随分疑問を持つのでございます。それから又此の間日劇の地下でニュース映畫を見て居りますと、其の中で色漫画のフィルムがあつてマツチ賣の乙女なんかが出て来る。あれなんかも漫画と言へるかどう、實は私は疑問を持つて歸つて來たのです。斯ういふやうな漫画と童書といつたやうな問題に付て一つ話して戴きたいと思ひます。まあ最初の種だけとして、洵に恐入りますが、宮尾先生あたりから御意見を伺ひたいと思ひますが……

宮尾 あのフィルムの漫画は、子供に見せるのが主でなくて、大部分大人が見る小供漫画ぢやないかと私は思ひます。ですから日本人の子供には全然無理だと思ひます。中には童心はありますが、大體大人が求める童心ぢやないかと思ひます。今度の漫画の相談會にのつた方が、山本有三さんにしろ坪田さんにしろ、大人に見せる子供物の作家です。漫画家は一人も相談會にはのつて居ないので。あれは向ふの手落ちぢやないかと私は思つて居ります。子供に見せる子供漫画と、大人に見せる子供漫画といふ區別を附けなければ私はいけなだらうと思ひます。

松前 此の場合としては子供に見せる漫画と思ふのです。

宮尾 それならば、なぜ大人に見せる子供漫画に付ての偉い方ばかりを集めるのかといふことが疑問だと思ひます。

松前 宮尾先生、子供の漫画の本質といつたやうなことに付ては、どういふものが必要ですが、今申上げた漫画と童書の限界と申しますか、さういふ點が私には分らないのですが……

宮尾 岡本歸一さんの繪と漫画と列べると、童書と漫画の區別は直ぐ分るのではないかと思ひます。これは一番好い見本ぢやないかと思ひます。漫画の本質に付て池部先生、何か……

松前 どうも私其の點分らないものですから、一つ伺はして戴きたいと思ひます。

池部 子供の繪といふより、漫画と普通の繪との差を見ると非常によく分るのです。漫画といふ



ものはユーモアがなければいけません、普通の繪はユーモアがなくてもいい。併しウィットといふものは両方にある、子供のお伽話の繪、童畫、相當ウィットがある。ウィットがなければ面白く見せることが出来ない。けれども普通の童畫はユーモアがなくても立派に出来上ります。漫畫の方はユーモアがなければ絶対に漫畫たり得ない。其の差をばつきり見れば、童畫と子供の漫畫といふものの區別が分る譯だと思ひます。其の差がどういふものか具體的に言へと言はれると、それは感覺の問題ですから、そこまではつきり私も言へませぬけれども、併し子供に見せる漫畫はどういふ具合にしたら宜いかといふ問題はむづかしいですね。共通して居るのぢやないか、大人も見ても面白いし、子供もやはり見て面白いのではないか、そんなに子供と大人の感覺が離れて居るとは私は見て居ない。大體漫畫に作ったものは、そんなに高級な大人に見せるやうに作つてない。どつちかといふと、子供に見せるやうに作つてある。今の映畫のものなんか、大人に見せると同時に子供にも分るだらうと思ひます。アメリカのインディアンなんか、へんな驢馬なんかに乗つて驅出して行く、それは子供が見ても愉快だし、大人が見ても愉快だと思ひます。それが良いか悪いかといふことは別ですが、脚のいやに太い馬とか、さういふのは大人が見ても子供が見てもやはり分るのではないかと思ひます。それを子供だけに見せるやうに描くとか、大人だけに見せるやうに描くといふことは、これは一寸むづかしいです。

すね。今私も研究して居ませぬから申上げられないです。

松前 それは内容の問題になる譯ですね。

池部 内容の問題ですね。——けれども洒落みたいなことは子供には分らないことがあるかも知れませぬ。

\*齋藤 内容の問題が出ましたが、以前内務省あたりでも頻に國策的にせよ、教育的にせよといふことを大分喧ましく言はれたやうでしたが、あれは漫畫の本質からいふと第二義的で、却て漫畫の領分を墮落させはしなかつたかと想はれた點があります。最近方々で見ますと、ちつとも面白くない漫畫が出て居る。漫畫は、始終教育、教育と苛められて居る子供達が、漫畫で初めて救はれるといふ、一つのオアシスみたいなものぢやないかと思ふのです。ですから其の點をもつと漫畫家の方で強調して載いて、漫畫は、さういふ時代色を持たせることも結構であるけれども、繪物語や、科學の説明に使はなくとも良い、本當の漫畫の領分から言つたら、寧ろ墮落であるといふやうな考へ方があるんぢやないか、私共も最近出るものが面白くないのですから、さういつた感じを持つて居ります。漫畫家の方に一つさういふ御説明をばつきりと聞かして戴きたいと思ふのですが……

池部 どうも漫畫といふものは、教育と背中合せの所がありますね。(笑聲)ですから漫畫を例へ



ば食物の味の素か薬味かと思つて戴くといふのですが、薬味がいかぬといへば問題ですが、薬味の程度問題ですね。全然入れてはいかぬといふことになる問題だな。

\***齋藤** どうも併し、一般の考へでは、漫画で科學を説明したものとか、或は國策を宣傳させるといふやうなものでなければいけないやうに考へて居るやうです。此の間も波多野さんの所へ伺つたら、良い漫画が手に入つた、繪はそれ程でないが面白い。それは、動物が冬籠りする生活を書いたもので大變面白かつたと話されて居りました。これは確かに結構なことと思ひますが併し漫画の本質からいふと、さうでなく、本當に楽しみに見る可きものであつてよいと思ふのです。丁度喧ましい家庭の子供に良い子供が出来ないで、のんびりした家庭に却て良い子供が出来るやうに、教育々々といはれないで、子供の氣持の救済になるやうな役目を果すのが、漫画の本當の領分ぢやないかと思ふのですが、さういふ説は成立しませぬか。

**宮尾** それより、今度の事件を起した原因はそちらの方にあるのですから、それから第一に問題にしなければいかぬ譯です。それが爲に漫画家も食へなくなるし業者も食へなくなつて居るのですから、それだからあんなむつかしい科學とか何かといふことになつて、まあ言ふ趣意は結構です、良い漫画を作らうといふのですから結構ですが、或る二三の方が變なものを出されたといつて善良なものを描いた者までも捲添食つて居るのです。

\***齋藤** 併し漫画の第一義といふものは斯ういふものだといふことを當局にもはつきり認識して貰ふ必要があると思ふのです。

**宮尾** 先つお役人の考へ方から變へて貰はないと駄目ですね。

\***齋藤** 兎に角結果として現はれた漫画を見ますと、これぢや子供達が救はれないといふやうに感じたのです。これを今日の重要な話題として戴いて、漫画家の方々に大いに説明して戴きたいと考へて居るのですが……

**宮尾** あゝ刻々に向ふの主義主張が變つて來るのでは、吾々が考へても何にもならない。

\***齋藤** 併しお役人の方でも漫画に就ての考へが變られたやうで、漫画といふものは面白くなくてはいかぬといふ感じは持たれたやうです。始めは色々言ふて居られたやうですが、どうも面白くない漫画はやはり漫画の價値がない。どうも今の皆の描いて來るのは一向面白くない。教育々々といふけれども、結局面白くないものは子供が見ないから教育にもならない。面白いものを描いて貰はなければいけないといふ考に大分變つて來られたやうに思ひます。

**新聞** 學者も吾々も少しさういふ言葉に囚はれ過ぎて居るのぢやないですか。一つの過渡期ですから、向ふの言つたことはピンと響きますから、それにふん搦つたといふ形で、これは過渡期で已むを得ないのではないですか。これはもう少しお互に話をして行くうちに、良いとか悪い



とかいふ説や其の他の一致點が出て来るのではないですかね。私は今さう思つて居るのですけれど……

**酒井\*** 業者の一人として考へて居るのですけれども、彈壓を食つたあの當時の漫畫は實際悪いものであつたといふことは事實でありまして、さうして映畫の方の漫畫が非常な勢で流れ込んで来た爲に、漫畫と童畫の間の區別が附かないで、唯業者は賣ればいゝといふ一點張で賣つて行つた爲に、自然あゝいふやうな方面に流れて来たので、そこに何か、漫畫と童畫の間に何かしら業者としても區別があるやうな氣がするのです。例へば漫畫には何か子供の生活のユーモアな反面を描き出す。それはもう既に道徳とか知識とか、有ゆるものを根據にしたものから出發したユーモアの方面を描き出して貰ひたいといふのが當局の意向ぢやないかと思ふのです。さういふ科學だとか何かといふ漫畫の限界を乗り越えてまでやれといふ意思ぢやないと思つて居るのですが、どんなものでせう。それがやはり漫畫と童畫の區別が或る程度まで附かない爲に、さういふやうな逆モーションと言ひますか、逆の強さで以てそれを當局の方で言はれて居るのぢやないかと思ふのです。唯子供にもやはりユーモアな反面があつて、其の反面を比較的強調して取扱つたものが漫畫であり、さうでないものが童畫である。さうして茲で取扱ふ漫畫といふものは、やはり大人が書いて子供に見せる漫畫であるといふ意味で、或る程度まで漫

畫にも何か子供の童心を培ふとか、未開拓のものを啓發するとかいふ、何かリーダーシップを持つて行くべきものぢやないかと、業者としてはさう考へて居るのですけれども、専門家の方々の御意見を伺へれば結構なんです……

**池部** ユーモアの程度といふものが非常に問題ぢやないかと思ひます。具體的に言へば、例へば人が亡つて轉んだ。其のをかした形を一方では笑ふ、人が亡つたのに笑ふのは宜くないぢやないかといふのは教育家の立場であつて、吾々から言つたら形がをかしかつたら笑ふ。人に依つて、年寄にはをかしくなくても十八の娘は箸が轉んでも笑ふ。これを無理に抑へようとしても無理だと思ふ。其の程度が最後の問題ぢやないかと思ひます。人が轉んで笑つていかぬといふことだと、まるつきり話が成立たぬことになると思ふ。そこを當局が分つて下さると非常に宜いのです。多分分つて居られるのだらうと思ふ。絶対にそれを禁ずるといふことではないと思ひます。

**金井\*** 其の點は池部先生の仰しやる通りで、當局者としても——私は業者の方でございまして、決して當局者の代辯をするのではありませぬが、昨年十二月六日に繪本屋ばかり集められて色々御協議に預つたのです。其の時に當局の言ふことを私共聞いて居ると、どうも教育的といふことが主になりますので、教育的といふことが主になつては漫畫の繪本は勿論のこと、普通



の繪本さへも存在價值がなくなつてしまふのだ、普通の繪本は教科書に繪が入つて、それから以後は益々子供に喜ばれるやうになつて來た。それは何が特長だといふと、要するに興味本位だ、興味本位といふことを除いてしまつたら、漫畫の繪本も普通の繪本も殆ど存在の意義がなくなつてしまふ。其の點をお話申上げた所が、當局者としても、決してそれは狭い意味の教育的といふ意味でないのだ、廣い意味での教育的、健全なる興味本位、さういふ所に繪本は主眼を置いて貰ひたいと言つて居られるのです。決して漫畫が非教育的だといふ風に、又教育的でなくてはいけないと言ふ教育といふ言葉は狭い意味でないので、非常に廣く言はれて居りますから、其の點は漫畫を描かれるお立場からも安心して、要するに自分の子に與へる場合、それを親心で見れば一寸困るといふものは避けられればそれで宜いのだらうと思ひます。唯當局者の方も仰しやつて居られるのは、漫畫の繪本を作るならば、そこに子供を指導する何物かを與へ、或は子供に朗かな、無理な操りでない笑ひを與へるやうな内容にして貰ひたい。其の繪にしても餘り突飛な、荒唐無稽な、例へばお腹を突抜けて向ふへ行つてしまふとか、或は刀を抜いてバツとやると百人位の首が飛んで行つてしまふといふやうな、さういふやうな程度でないものにして貰ひたい。さういふ御意向でございますが、結局漫畫と童畫の世界といふものは今の池部先生のお話のやうに、感覺的にのみ分け得るものと承知致しましたが、漫畫といふ

ものは子供にどういふ風な効果があるだらうか、これは年齢に依つても違ふことだらうと思ひますが、さういふ方面で漫畫の存在する意義を大いに高めて行きたいと思ふのでございますが如何でございますか、何かそれに付て御意見を伺はして戴きたいと思ひます。

**松前** 今の金井君のお話は、私達此の間も伺つて、或は最近もお會ひして色々お話を伺つたので其の内容は分つたのですけれども、今度の場合は別としまして、唯一つの漫畫といふものに付て私達よく考へて見ると、漫畫を子供が讀み始めると非常に熱中して、全部讀み切つてしまはなければ其の本を措かぬ。それだけ熱中させる力が漫畫にあるのです。其の魅力がどれだけ子供の性質などに影響を與へるか、又感化力の大きなことは、小學校の教科書や何かに比して随分大きなものだらうと思ふのです。さういふやうなことに付ては、お母様とし、又お父様とし先生として随分色々問題をお考になつて居らつしやることがあるだらうと思ひます。それが結局の所先刻仰しやつた池部先生の程度といふ問題に關聯して來ると思ふのです。其の程度といふ問題と、何が故にこれだけ子供を惹きつけて行くか、又其の惹きつけて行く力を色々なものに利用しようとする大人の教育的考、斯ういふやうな三つが此の漫畫に對する功罪の問題になると思ふのです。さういふやうなことから一つ氏家先生とか波多野先生、酒井先生、それから日比谷小學校の村野先生の御意見を一つ伺はして戴きたいと思ふのです。詰り子供に直接どう



いふやうな結果になつて漫画といふものが現はれて来るかといふ點で一つ御意見を伺はして戴きたいと思ひます。漫画をお作りになる方の立場からは大體今まで拜聴したのですが、それをお受取になる方の立場から一つ……

氏家 先生方のお先で失禮でございますが、それでは一寸申上げさせて戴きます。私母親としてといふ狭い立場でございますが、實は今松前先生が仰しやつたやうに、子供は漫画を見出すとどうしても離さないもので、其の點は困つてしまつて、餘り長くないものを出して戴きたいと思ひますことが度々ある位でございます。私達でも子供のものを借りてこちらが見出すと、お終ひまで見なくては氣が濟みませぬ。時々お父さまが取上げてしまつて中々返して呉れないといふこともある程でございます。これは或る人が調べたものでございますが、漫画は何處が面白くて、どういふ譯で好きかといふことを尋常五六年の男子と女子に付て調べた中から選り出して見ますと、嘘のことが本當になるから面白い、或は勇ましいとか、突飛とか、色々ございませぬけれども、其の中に香氣だからいゝとか、慌てるから面白いとか、次が楽しみだからといふことがあるのでございます。やはり子供は香氣だとか茶目だとか、さういふことを非常に好いて居ることは確かで、又次が楽しみだといふのも確に楽しみでございます。あの興味を、今教育的といふ言葉が大分ございましたが、あれで引張られて教育的なものを授けられるなら

うと思ふことがあるのでございます。と申しますのは、例へば茲に慌てたから折角大事に持つて居つた物を落として壊してしまつたといふことがあると致しますと、「あわて者の熊さん」といふのが新聞に出て居りましたが、慌て者が失敗したといふやうな話が出て居りますと、今までの教育では、だから慌ててはいけませんよと言はなければ氣が濟まなかつたのですが、子供はちつと見て居て、自分でやはり慌てては駄目だな、慌てるとあゝいふ熊さんみたいになるといふ風にあとで取つたりしますもので、一遍々々斯うだから斯うなつて斯ういふ風になるとなつてしまつては面白くない、あの位の所で面白いのだと思ひます。中には勸善懲惡といふ譯でないけれども、意地悪したら自分の方にバネが返つて来て頭を打たれたといふことがあると、やはり意地悪したらあんな風になるといふことが分るらしいのでございます。勿論こちらの年齢にも依りますけれども、さういふ譯で漫画は、本當にあれも長い時間讀まれて困つたことは事實でございますが、併し外へ出て漫画の本を買はないで歸らうと思ふことはございませぬ。やはり漫画の本を買つてしまひます。さうした點から考へまして、今までいやだと思つた漫画は餘りございませぬけれども、同時に同じ調査でどういふのが嫌ひかといふことを調べますと餘り長いのはいやだといふのがございました。これは尋常五六年でございますが、むづかしいのはいやだし、色の塗つてないのはいやだ。色が塗つてなくて字ばかり多いのは大人でもいや



になります。へんな死んだ所の繪が出て來たり、喧嘩して居る繪が出て來たり、そんなのはいやだと申して居ります。同じやうに私共から見ましても、そんなものはやはり面白くない。憎らしい顔が出て居つたり、武士なんかでも珍ちくりんな繪が出て居るのは、あゝいふ繪はない方がいゝと思つて居ります。よく考へて居りませぬのでこの位で……。どうもお先に失禮申上げました。

池部 教科書には漫画といふものは入つて居りませぬか。

松前 ないやうに思ひます、私の知つて居る範圍では……

池部 寧ろ文部省で以て良い漫画は教科書に入れたらどうです。さうしたら教科書を親味になつて讀みはしないですか。教科書を離さないやうになりはしないですか。もつと碎けて教育した方が宜いと思ふ。

新聞 數學の教科書に多少漫画風なものが入つて居ります、數といふものを面白く頭に入れる爲に。それから彌次喜多やなんか多少漫画風な表現がしてありますね。五年ですか……

松前 村野先生、如何でせう。今の池部先生の御意見に付て……

村野 算術の本に漫画的のものが入つたといふことは、新機軸を開いたといつて大變喜ばれまして、まあ一年生などは大變それを喜んで、前からお話のあつたやうな惹きつけられるといふ方

面から考へますと、取扱上可なり私達樂をして居る譯です。其の教育的といふことは、どうもどの程度まで考へられるか、それは實際に所謂教育的の漫画であつたならば、文部省でも入れて貰つて、兎に角教科書といふものは何だか知らないが固いもの、讀みにくいものといつたやうな感じでなく、修身の本も讀方の本も、算術は無論のことですが、親しみ易いやうにして貰ひたいと思ひます。そこで漫画でございますが、漫画の本といふ銘を打たれたものは、まあ雨の降る日なんか、何か持つて來た讀物を讀んで宜いと言つて廻つて見ますと、大部分漫画の本を見て居りますが、一寸どうかと思ふやうなものもある。あれはどうもやはりお買ひ下さる方の、主としてお母さんの方にもう少し注意して戴きたいと思ふことがあります。これはどうもそこまでは教育家としても喙を容れる所ぢやないので仕方ないのですが、そこで實は今日いゝ座談會があるといふやうなことを伺はさせて戴きまして、一言も喋らないで唯伺はせて戴きたいといふ考で參つて居るものですから、どうぞ宜しく……

松前 先生、一つ忌憚ない所を仰しやつて下さい。池部先生でも誰方でも持抜きで話して下さい。のですから、一つ忌憚なく漫画の悪い方の部分をうんと出して下さいませぬか。それも一つの問題として非常にいゝ問題になるのでございますし、例へば今池部先生が良い漫画と仰しやいました、良い漫画といふ定義は何だと今伺ひたかつたのです。それは結局は先刻仰しやつた



ウイットやギャグの程度に問題になると思ふのですが、あれ程惹きつけて行く、子供の生活をびつたり捉へて來るのは今の所漫画以外にないと思ふのです。隨てそれだけ感化力も多い、教へられる所も多いといふことは今氏家先生の御意見もあつた通りで、それだけのものならば積極的に與へてもいゝといふ御意見に結局なつた譯ですが、さうすると、其の限度といふ問題が先刻から問題になつて居るのですが、其の限度を越えない程度で果して今までの漫画が持つて居る所の興味力があるかどうかといふ問題になるだらうと思ひます。其の限度はどの程度か、良い漫画の持つウイットやギャグの限度の問題です。非常にこれはむづかしいデリケートな問題で、感情を尺度で計るやうな問題になるのですが……

池部 それはどうしても漫画家から見れば尺度は長くなりますね。それから内務省や教育家の方から言へばもつと短くしたいでせうし、そこは中々むづかしいですね。良いとか悪いとかいふことは尺度の問題ですからはつきり申上げられないですけども、内務省でいけないと仰しやる人を殺すことを描いてはいかぬとか、泥棒を描いてはいかぬとか、荒唐無稽なことを描いてはいかぬとか、博奕を打つやうなことを描いてはいかぬとか、さういふことをはつきりして戴いたら宜いのではないかと思ひます。

齋藤 一寸伺ひますが、今の問題ですが、漫画は指導的とか教育的とかいふものでなくても、寧ろにならない健全なユーモアがあれば、さうして良いものであればどうなんですか、それを一つはつきり教へて戴きたいと思ひます。

松前 私まだ教育的といふことを申上げた積りぢやなかつたと思ひますが、若し申上げて居るとすれば、広い意味でのことです。

酒井(朝) 私は漫画もやはり教育的といふことは言へないと思ふのです。それは解釋の仕方、修身だけが教育だとは限らないので、教育といふものは有ゆるものの中に教育があるのであります。丁度食物などにしましても、唯牛肉だとか或は牛乳だけの中に總ての滋養物があるとは限らないのであります、實に卑近なもので、或は捨てるやうな豚などの腸とか、鰯鳥なんかには随分滋養物があるし、或は大根だとか人参の切れ端なんか非常に大事な要素があります。強ち格式張つた所謂教育といふものだけが教育ではない、さういふ意味から言つて、私は漫画も幼兒及び兒童に對して非常な教育的な力を持つて居ると思ふ。又兒童を教育する力のあるものは成人に對しても相當大きな働きかけを持つ。例へばどんなものがあるかといへば、それは漫画を描く人のクリエイトする人の持つて居る内容ぢやないかと思ふのですが、非常に勝れた人生的な豊富な經驗がある、或は又自然界の方面に關しても、或は兒童の育兒方面に關しても、總ての方面に對して非常な熱烈な愛情があつて、絶えず人生をよくして行かう



明るくして行かうといふやうな立場で生活して居る人の筆に成つた漫画といふものは、或る點から見れば非常に面白くはないかも知れませぬけれども、其の中には非常に良いものもあるし、さうして面白いといふことも先程池部先生のお話のやうに程度の問題に歸着することと思ひますけれども、在來の野放圖に野放しになつた、無制限の中の面白さといふものは本當の面白さかどうか、面白いといふことも時代と共に推移することであり、子供の智慧といふものも、やはり日露戦争の時分の飛行機なんかもない頃の、私達の幼少の時分の子供と現今の子供と全く違ふし、或はラヂオといふやうな機械科學から來る所の興味といふものは全然違ひますから、時代と共に推移して行くものであつて、今面白いといふものも何時までも面白いとは限らぬ。併し其の中にやはり永遠に面白いといふものもあるだらうと思ふ。それはやはり描いて來た中に何か貫く大きなものに觸れて作られたやうな漫画、或は漫文といふやうな方面にも入つて來ますが、さういふものはやはり何時まで経つても面白い。人生を描いて居るから、其の人生の中に子供の世界が入つて居るといふのが面白い。例へばセルヴァンテスのドンキホーテのやうなもの、あれは子供の爲に書いたといへばいへますけれども、大人が讀んで面白いし、やはりそれは人生の爲に書かれた一つの漫画といつてもいいので、あれを繪にすれば漫画になる。さういふ意味から言ひまして、あゝいふ小説といふものが所謂漫画に當るものであつて、さう

いふ中に唯滑稽な方面を見れば随分滑稽な突飛なことがあります、其の中から色々人生の中の悲哀といふやうなものや涙といふやうなもの、或はものを考へさせる力とか、或は情熱とか正義の觀念とか、色々ものがあつて、さういふものが漫画、漫文の形を取つて來る。さういふ意味から言ひまして、漫画を唯小手先だけで作つて、それが面白い漫画であるといふやうなさういふ所謂通俗的な漫画觀念からこれからは解放されて行く。次にどういふものが本當に兒童の爲になるか、それは兒童に面白いと同時にお母さんにも面白い、お母さんに面白くて子供にも面白いといふものに着想して行かなければならぬ。教育家も或は世のお母さんも、或はさういふものを扱ふ出版業者の方々もさういふ所に第一に着想して戴きたい。それで在來の漫画家といふ方の中に非常に勝れた人生的な深い内容を持つて居られる方も居られます。此處に御列席の方々は其の代表的な方々であります、又一方に於て漫画といつて唯をかしい、ペンの筆の先だけに漫画があると思つて、それををかしく描いて、やはりそれが漫画だといふやうな人もあるやうでございます。併し本當の漫画といふものは、ペンの筆の先だけでは生れるものではなくして、其の作家の心の中から其の人の持つて居る大きな精神内容から生れて來るものだと思ひます。詰り兒童に對する愛、或は人生に對する愛といふものがある場合には、それが或る場合には動物に形を取り、或る場合には兵隊さんに形を取つて、色々な形に現はれて來る



ので、一定したこれではなくてはいかぬといふものでは決してなからうと思ひます。要するに描く人の持つて居る内容に依つて良いことにも悪いことにもなる。一寸見て面白くないといつても、例へば今まで餅菓子などの無暗に砂糖の入つた甘いお菓子を食ひつけて居た者が、少し上等のビスケットとかケーキとかを食べる時には、どうも甘さが無い、詰らぬと思ふか知れませぬが、併し慣れて行けばケーキはケーキとして、カルケットはカルケットとしての妙味があつて、又楽しいお菓子の味ひがある。さういふものを食べて居れば、決してさういふものが詰らぬのぢやない、宜い。さうして面白くもあり楽しくもある、其の中に滋養味もある。結局面白いといふことが爲になる、爲になるといふことはやはり教育的に効果のあることになる。さういふ意味から言ひまして、私は漫画其のものの内容といふことに對して、描く方の人も大いに考へて、自分はペンの先だけで唯をかきなもののしか描けないといふ漫画家ぢや困る。唯それは小さい子供をあやす飴賣り風の漫画だけでは意味を成さぬので、大人の鑑賞にも堪へる、或は明日に生きるといふ力の湧いて來るといふ風な、さういふ大きなものが流れて居るといふ所にも漫画の行く使命が確にあるのではないかと思ふのです。要するに人に依ることであつて、今まで面白く描いて、唯面白いといふだけで何にもならぬといふ漫画を描いて來た漫画家といふものは、私は將來は減びて行くのではないかと思はれるのです。誰が減ばすかといふことは、

出版業者が減ばすのでもなければ、或は教育家が減ばすのでもなしに、其の人自身が減びて行くのぢやないかと考へるのです。やはり豊富な感覺的内容を持ち、或は非常に宗教的な信仰心もあり、さうしてよく現實の人生といふものを見詰める力もあり、科學的な觀察力もある良心的な畫家に依つて生れるものは將來性がある。さういふ意味から言ひまして、今まで漫画をちつとも描かなかつたといふやうな畫家の方々に漫画を描いて戴けば随分良い漫画が出来るのではないかと思ふ。さういふ方は、漫画などは描けぬと考へて居られる方があるかも知れませぬが、それは在來の漫画は低俗なものが多くて、漫画といふものはさういふものぢやないかといふやうな觀念の爲に漫画に筆を梁めない。本當に良い漫画の描ける童畫の方々が漫画を描かないといふことで、實際惜しいといふ感じを私共は持つて居るのであります。將來は今まで漫画を描かなかつたやうな人も漫画を描いて、眞面目な方々が漫画を描いて行くといふことも、私は漫画の世界を段々高めて行つて、漫画の本質を理解さして、有ゆる家庭の中に、教育の中にどんどん入つて行つて、兒童の生活を豊富にし、明るくし、力を與へることになると思ふ。漫画の効果といふものは申上げるまでもない程だと思つて居るのです。それと關聯しまして、文章といふものに於きましても、或は子供の文章といふものに於きましては、唯子供の文章はやさしい、文字を知らぬでも書ける、大人のもは書けぬが子供のものは書けるといふやうな



程度のものでは、如何に子供の童話を書きましても、少女の讀物を書きましても、意味のないもので、唯一時的のものであつて何等そこから力になるものを汲取ることが出来ない。結局兒童に與へるものも、勝れたる内容を持つた作家、良心的な作家、さうして將來に對して抱負を持つて居る作家が、場合々々に依つて、或る時は楽しく朗らかに、或る時は教育的に、或る時は科學的といふやうに、色々ペンの續を以て書けば良いものが出来る。漫畫に於ても私はさういふ意味に於て、唯限られたる從來の漫畫觀念を廢棄して、さうして勝れたる童畫家に或は畫家に漫畫を描いて貰ふ、さういふ方面から言つて、新しいユニークな漫畫の世界を開いて行くといふことは随分意義のあることだと思つて居ります。

**金井\*** 只今のお話の中に色々なむづかしいことがあるのですが、私共漫畫の問題が色々喧ましくなつてから、どうも子供漫畫といふものは繪だけぢやなくて筋が非常に大事で、童畫家は今まで漫畫を描かなかつたが童畫家も描いたらとのお説もあつた様だが、漫畫の筋といふものは普通の童畫家が書いてあゝいふ漫畫の筋が立つものかどうか、又普通の童畫ばかり描いて居られた方が、非常にユーモアのある良い漫畫といふものがさう簡単に描けるものかどうか、さういふことを私は非常に疑問に思つて居りますので、漫畫の筋が童畫家でない人にも書けるのか、童畫家にあゝいふ漫畫が直ぐ描けるのか、さういふやうなことを水谷先生や初山先生から御意

見を伺ひたいと思ひますが、如何でございますか。

**小熊\*** 私も只今の御質問と同じやうに、童畫家が漫畫を描かなければならない、童畫家の仕事をしなければならぬといふことに付ては、果して童畫家が漫畫の仕事をする場合に、さう簡単に出来るものかどうか、疑問に思つて居るのですが……

**酒井(朝)** それは童畫にしる童話にしる矢張簡単に出来るものぢやないと思ひます。簡単に描けば簡單のやうなものしか出来ないし、童話にしる童畫にしる、やはりそこに打込んで苦しんで描くといふ所に良いものが出来て来る。漫畫にしても、それぢや直ぐ漫畫を描けといつても、簡単に出来るものぢやないと思ひます。やはりそこに漫畫を描かうといふ漫畫の世界を拵へて苦しんで描けば、私は相當なものが出るのではないかと思ひます。又物語の筋を書く方の童話作家なり、さういふ側から見しても、それはやたらに漫文を書いて見ようといつても、やたらに出来るものでない。やたらにやれば、先にやつて居つた人に敵はぬかも知れませぬが、更に其の線を乗越えて、深く苦しい思索の上でやれば、何か知ら今までのものとは同じぢやない意味に於て、又一つの新しい世界が出来るのではないかと思ひます。決して樂にやすくと出来るとは私は思ひませぬ。

**水谷** 色々仰しやいましたが、結局約めて見れば、内容的なユーモアといふものをもつと強調し



て行つて、今までである外側だけから来るユーモアだけに囚はれないで行くやうに、詰り在來の漫畫の概念をもつと廣くして行かうといふ意味ぢやないかと思ふのです。詰り内容的に高めて行かうといふやうなことだと思ひます。けれども一體斯ういふ話では、先刻も色々内務省のお話も伺ひましたけれども、業者の方と共に親切に話して行くといふことは、具體的な問題を話すのが一番早いのです。内務省なんか何が悪い、これが悪いと言つて指摘されたのは結構ですけれども、私よく知りませぬが、其の一方に於て、これなら良いといふ漫畫を見本に出すのが一番早いのではないかと思ふ。さういふやうな具體的なものがあつて初めて色々な感想が出て來るので、唯抽象的にどうだ斯うだといふことになる、先程池部先生の仰しやつたやうにユーモアの程度の問題になつて、尻尾のないものを掴へようとして居る形になると思ふのです。私實は此の會に來れば漫畫の見本なんかありまして、これはどうだ、これはどうだといふ具體的の話があるものだと思つたのですが、色々お話になつたのも結果論として結構ですけれども現在の此の問題をどうするかといふことになる、此處で議論しても初まらないと思ひます。親切であるといふことは具體的であるといふことですし、内務省はどうして居るか知りませぬが、首を刎ねるのは悪いに違ひありませんが、或る意味で首を刎ねるのも宜い場合もあります

**小 熊** それは僕は少し意見は違ふと思ふのです。戦争の場合とはつきり限界を打立てる必要があると思ふのです。而して現實には色々な事件がありまして、首を刎ねる事件もあれば、又さういふことを止める状態もある。色々な意味で現實は複雑だと思ふのです。併しそれは何れにしても首を刎ねるといふやうな現象は非常な矛盾ですから、其の矛盾した現實があるといふことを認めるといふ、さういふ限りでは現實的であるかも知れぬ。併し今此處に作家がありまして或は出版者がありまして、それをどういふ限界に於て解釋するかといふ場合には、大人の世界といふものと子供の世界といふものとの境界線を立てる必要がある。現實に於て、首を刎ねるといふ現實は一應肯定されるとしても、せめて子供の世界にはさういふ現實を知らせないといふのが宜いのではないかと思ふのです。

**水 谷** 一寸待つて下さい。私は首を刎ねるといふことは一つの例として言つただけで、唯さういふやうなことで具體的でなければならぬ、良いもの／＼といふことは誰でも考へて居ります。良いものを作らなければならぬといふことは結構なことです。けれども議論をどんなに澤山やつても良いものは生れて來ない。やはり一番手近な——現在よりも良くして行くといふ努力はお互に努力しなければなりません。さういふ意味に於て何時でも問題に具體性を負はせて、内務省は唯悪いからといふ程度だけで彈壓をせず、十分親切な——内閣も必要だ、併し



其の内閣も去年は斯うだが今年も斯うだといふことはいけない、立派な尺度を以て内閣する必要がある。此の問題は、内務省の人達が今日来て居らつしやらないといふので困つて居るので、内務省の方に色々具體的なことを伺つて見たいと思つて居るので。

齋藤 今日はいふ具体的なことを成可く仰しやつて載いて、出版者が大體教へて載く意味の會合だと思ふのですが、どうぞ一つさういふ意味で……

松前 内務省といふことが目の仇になつて出るやうですが、現在の會としましては斯ういふ趣旨で行きたいと思ふのでございます。内務省の檢閲といふことを問題にさせぬで、漫畫其のものとして良い漫畫——二言目には皆様のお口から良い漫畫といふことが出るのですが、過去に問題が起つた、同時に非常に大きな漫畫の勢力があるので、これをどう子供の世界に與へるか。どういふやうな方針に今後の漫畫といふものをやつて行くべきかといふことを、今日だけで新漫畫のモットーと申しますが、さういふやうなことを決めるといふことは不可能かも知れないですけども、さういふやうな程度に於て皆様の忌憚ない、良い漫畫といふものは斯ういふものである、斯ういふやうな程度ならば子供に與へていい、斯ういふやうな漫畫を描きたいといふ程度の皆様のお考をぶちまけて載いて、今日の會の終結までには臆氣ながらも、斯ういふことが今後の子供の漫畫の行く道だといふやうな所までお話を進めて載きたいと思つて

居るのです。先程來池部先生のお口からも良い漫畫といふ言葉が出て居るし、宮尾先生のお話も要約すれば、悪い漫畫の爲に良い漫畫までも側杖喰つたといふやうな御意見もあつた。それから今小熊さんの御意見も、結局は良い漫畫の尺度の問題だらうと思ひます。

小熊 尺度の問題といふか、向ひの金井さんが問題を提出して居るのです。話は可なり具體的だと思ひます……

金井 主催者として……、實は今水谷さんのお話で、此處に具體的に漫畫が出て、斯ういふのがあつた斯うだといふことになるのがいふ御希望のやうに伺ひました。實はそれを考へないでもなかつたのでございますが、褒められる方はいふが悪いと批評される方はどちらさんのお店にしても具合が悪いもので、雑誌屋さんの方の漫畫も私共出版社の方の漫畫も持つて参りませぬでしたので、其の點具體的にならないことは残念に思ひますが、私共に分るやうなことで話をして載きたいと思ひます。内務省の方は、首を刎ねるといふのは——一つの例でございましたが——それはいけないとは申しませぬ。それに付ては波多野先生も居らつしやいます、波多野先生は内務省の指示事項といふものに付ては直接御關與になつたやうに伺つて居ります。一應波多野先生にさういふ話をして戴いたら如何かと思ひますが、如何でございませうか。

小熊 其の前に私の發言を繼續さして載きたい。あなたのお話の良い漫畫、欲しいといふ意見は



色々皆さんから出て居るそれだけの話では抽象的で僕は分らぬと思ひます。ところが今此の状態では、内務省の方針とか文部省の方針で行きますと、非常に良くなつて行くと思ふのです。併しそれは非常に最悪のものから漸次良くなつて行くといふ意味に於て無害なものが非常に多くなつて行くと思ふ。即ち興味本位のものとは従來のやうな興味と違つた意味で無害なものが出て来るのです。併し無害なものを無害として出すか、無害なものは有害ぢやないが、有益な分に入れるかといふ問題が出て来ると致しますと、其の點で内務省や文部省の方針が、詰り有害でさへなければ宜いといふ限度で行くか、或はさうでなくして、有益といふことと結びついた所で行くか、其の限界をはつきり立てる方が宜いといふやうな見解が立つと思ふ。今此の状態では、方針の通り動けば随分無害なものが出るんぢやないかと思ふ。さうしますと、一應子供の興味は漸次薄れて行くといふことだけは確かです。そこでそれはどういふ方針になつて行くか、それは業者も一寸分らないやうな立場ですので、それを質問したいのです。

**池部** 私からもう一遍言はして下さい。良い漫画といふことはむづかしいですよ、併し世間の人をもつと馬鹿けたことを認めて行かなくては漫画の生命がなくなつてしまふのではないか。馬鹿けたことといふのは非常にいやなことやうに思ひますけれども、人間馬鹿けたことが分らないやうぢや仕様がな。其のナンセンスをもう少し其の筋の方も教育者も、一般の讀者やお

父さんなりお母さんも認めて行くと非常に宜い。そこには非常にくつろぎがある。人間七分の利口三分の馬鹿とかいふことがあるやうですが、馬鹿けたことを一つ認めて行く寛大な氣持が一番欲しいと思ふ。

**酒井(朝)** 馬鹿けたことは非常に結構なことですが、それをどん／＼上つて際限なく行くといふと餘り馬鹿々々しくなつて困る。そこは難しいですね。どの邊まで馬鹿けたことが許容されて子供の爲になるかといふことです。要するにそれをお描きになる方々の教育から馬鹿けたことが薬にもなり或はそれが毒にもなる。處方の如何に依つては毒も薬になります。毒だみみたいなものでも薬になる。それと同じぢやないかと思ふのです。一つは又先程大人の世界を子供から離して大人のことは子供に知らずなといふ御意見があつたが、これに付ても一寸私は疑問を持つて居ります。子供といふものは随分大人の世界を知りたがるものだし、大人の世界を取つてしまつて子供だけの世界といふのは、それは無論ありますけれども、さういふものだけを以て漫画を作るといふことはむづかしい。非常に朗かでも如何にも可愛らしいものであるけれども、深味がない。大人の世界も取入れ、場合に依れば戦争も取入れる。場合に依つては少年少女に進化論を教へるにしましても、或は生殖のことなど、直接生の儘で教へるといふことはどうしても出来ない、併しどうしても教へなければならぬといふ信念の爲には、どうしてそれ



を教へるかといふ考慮を拂ふ。それがやはり教へる人の大事な點です。場合に依つては花粉に依つて、色々な方法に依つてそれを知らせる。戦争を取入れるにしても、如何に戦争は殺伐なものであるとか、如何に戦争は人類を暗澹たらしめるかといふやうなことを教へ方に依つてたゞ戦争其のものを無茶苦茶に描いてそれを教へて宜いといふものでなくして、其の現はし方にあると思ふのです。場合に依つては首を刎ねなければならぬやうなこともそこに起きて來ると思ふのです。併し首を刎ねることだけが興味で、どや／＼と百人位列べて斬つてしまふといふことは避ける、さういふ點に於て、大人の世界をも子供にどういふやうにして知らせるかといふことも相當大事なことだと思ひます。

**小\*** 熊 私言ひ落しましたが、戦争をテーマにしてはいけないと言つた譯でなくして、政治の問題の扱ひ方を言つて居るのです。子供の世界でも虫の首を取るといふことがありますが、戦争といふものは單純に現實に起きた問題でなく、政治的な事件だといふ認識が入つて扱ひ方も變るのではないかと思ふ。さういふやうな考慮さへすれば戦争を扱つても、これは正義觀の問題もありませんから、相當な正義觀を映されることは構はぬと思ひます。唯さういふ問題を一應考へなければ問題はむづかしくなるのではないかと思ひます、繪の上では簡單に首を斬ることが出來ても……。それから今漫畫家のお話では、荒唐無稽といふことを一應認めて貰はなければい

けないといふことですが、此の儘文部省や内務省に行きまして、漫畫家の立場として、少し馬鹿けたことも認めて呉れなければいかぬといふことを主張しようとしても、内務省や文部省はどういふ風に答へるか、それはいけないと思ひます。もつと適切な言葉があると思ひます。馬鹿らしいといひ、荒唐無稽といふ言葉の意は空想性の問題だと思ひます。空想性といふのは、現實的の根據から出た空想性といふものは一向差支ない。分けて理想とか空想とか、さういふものの中には現實的な根據が相當ある譯です。子供の想像力を將來伸ばして行くには、空想といふものの中には科學的な根據があるといふ意味で、漫畫家が空想的な漫畫を描くことを主張したい位です。それを馬鹿けたとか荒唐無稽といふ言葉で置換へて言へば、其の場合の道德的關係から、恐らくさういふ言葉では受入れられないと思ふのです。

**松前** 今のお話は大體に於て言ひ廻しの、表現の形式の問題だけで、結局仰しやつて居らつしやる御氣持は池部先生の御氣持も大體同じやうに思ひます。それで先程金井さんからお話があつたやうに、一つ波多野先生、特に私は斯ういふ點を先生に強調して戴きたいと思つて、併せてお願するのですが、漫畫が子供に心理的に非常に影響を及ぼす、或は變化があるといふやうなことを私ちよい／＼と一二の例で感じて居るのです。さういふやうなことから先生のお立場から附加へてお願したいと思ふのです。これは漫畫が問題になつた時分方々で座談會や何かが行



はれた時に出た話ですが、子供が非常な變な言葉を使ひ出したり、色々變な道化た様子をするやうな場合があるやうに思ひますが、其の根據を段々調べて見たら漫畫にあつたとかいふやうな座談會の記事もちよいくと拜見して居るやうな次第でございます。私も子供の親として、自分の子供が漫畫を見て、それに依つてさういふやうな影響も一二の例で見ているのですから特にさういふことも附加へてお願したいと思ふのです。

**波多野** 短い時間で色々なことを申上げられるかどうか分りませぬが出来ただけお話して見ませう。慥か水谷さんが編輯された繪本ぢやないかと思ひますが、「熊の家」といふ繪本がございます。お父さんの熊とお母さんの熊と子供の熊が四つ居て、お父さんが歸つて來るとそこらが散らかつて居るのです。それでこれは誰かが入つたのだらう、鼠ぢやないかと言ふ、お母さんは自分が折角拵へて居つたお菓子が食べられて居る。これは猫ぢやないかと言つて、段々調べて行くと、人間の女の子が二階に居て、さういふものを皆熊一家の留守に食べ散らかして寢臺に寝て、表へ出て行つてしまつたといふ繪本がございましたが、さうでございましたか。

**水谷** さあ……

**波多野** 慥か水谷さんのお作りになつた本です。

**新關** 現在出て居りますよ、講談社の繪本として……

**波多野** それは講談社の繪本ぢやないのです。四六判のボール紙の裏打がしてあるのです。頁數は十頁位で、非常によく出來て居るのです。私の家の子供なんか、二人居りますけれども、下のがこのお話の本を非常に好きでございまして、上のが四つか五つの時に買つたのを下の子供になつてから引張り出して、何遍となく讀んで憶えてしまつて居るのですね。お客様が來ると一字一句違はないで誦讀して聞かせる位好きな繪本なのです。恐らく外國のは詩になつて居るのでせうが、此の本では詩でなく穩かな散文になつて居る。私はまああゝいふやうな繪本も昔から出て居るので、それから考へても現在繪本全體が非常にいけないとか、刺戟的だとか言はれるのは、恐らく二三の方に取つては御迷惑だつたのではないかと思つて居るのです。今そんなことを申しましたのは、實は子供が極く小さい頃の漫畫を受取る心持と、相當大きくなつてから漫畫を受取る心持に根本的な違があるのです、それを一つにして話をして居ると、餘り埒が明かないのではないかと思ひますものですから、一番初にさういふ漫畫ぢやない話を持出した譯ですが、大體尋常三年位を境にして、早い子供は尋常一年位からですけれども、漫畫を受取る氣持に違が出て來て居るやうに思ひます。それはどういふことかと言ひますと、尋常三年四年位から上の子供が漫畫を受取る氣持は、丁度青年が新青年の漫畫を見て喜ぶのと大體似たやうな氣持になる。新青年の漫畫を見せて喜ぶことは、これらの漫畫がソフイステイクートされ



たむつかしいものですから、恐らく尋常四五年の子供には出来ないでありませうけれども、鑑賞の態度は少くともさういふ氣持になる。先程池部先生が仰しやつた馬鹿けたものを馬鹿けたこととして鑑賞する力といふものが出て来る譯です。唯新青年の漫畫に於て馬鹿けたと思はれて居るものが、極く小さな子供に於ては馬鹿けて居るとは見られないものですから、新青年の漫畫なんか見せると面白くない。外に讀物がなければ讀みませうけれども、さうでなければ、新青年のやうなソフイステイクートされた漫畫なんといふものは子供は要求しない譯です。少年俱樂部の漫畫といふものは、大體今言つたやうなものを狙つて來て居るのだらうと思ひます。ところが小さな子供の漫畫の鑑賞といふものはさうでないのです。小さな子供は非常によく笑ひます。一日の中で笑ふことと泣くことを除けば殆ど何もしない位よく笑ふのでありますが、其の笑ひは大人が滑稽なものを見て笑ふ笑ひとは違つて、非常に心が愉快で、屈托がないから笑つて居るので、喜劇とかコミックといふものを把握して、それで笑ふといふのは、尋常三四年位までは餘りないのです。コミックといふものが段々分つて來るのは、尋常三年位からだらうといふ風に私共は考へて居ります。今度の小學校の尋常三年でしたか四年でしたかの國語讀本に「笑ひ話」といふ課があるのです。これは皆さん子供のことをやつて居らつしやるのですから、國語讀本は~~判~~覽になつて居ると思ひますが、話は忘れましたが、それを學校で一通り讀

まして、何處がをかしいかと聞いて見ますと、大體組の三分の一位、即ち割によく出来る子供は何處がをかしいといふ的を言ひあてるのですが、さうでない子供は飛でもない所がをかしいと言ふ。寧ろをかしいと言つた子供の方を笑はなければならぬやうなピントを外れた理解の仕方をする。それを先生がどうか斯うにか引張つてやつて、笑ひ話の笑ひ方といふものを理解をして行く譯です。そんな風に國語讀本にあるやうな極く素朴な笑話なんかでも、小さな子供には分らない。子供は絶えず笑はう／＼として居りますけれども、併し其の笑ひは快活な笑ひであつて、滑稽なものを笑ふといふことは小さな子供には出来ないことだ、或はむつかしいことだといふことが言へる譯です。どうしてさういふことになるかと言ひますと、新青年の漫畫なんか見ても分りますやうにあれば詰り一種の課題の解決なんです。算術の問題のややこしいのを解くと同じでありまして、私共でも新青年の漫畫なんかは見分らないのがよくある。これは分らないと言ふと、お前は野暮な奴だといふことをよく言はれる。三日位考へて居るうちに分つて、ハツハツハといふやうなことがある(笑聲)。さういふ風に課題の解決を求めらるものであります。だから新青年の漫畫などを見て、どこがをかしいかわからないときには吾々は負けたやうな感じがする。一生懸命考へるとか、或は非常に情ないやうな感じがするとかいふことが起つて來る。然し漫畫の課題は唯の課題の解決ぢやない、二に一を足して三にな



つた、ハツハツハと笑ふといふことはない。普通の課題とはよほど變つた課題の解決です。どういふ課題の解決かと言ふと、全體がひねつてあるか、或は結論がひねつてあるか、どつちかがひねつてある。まつとうな解決なら笑ふことはない。まつとうな解決の裏にまつとうでない解決の仕方があるのです。例へばこれは非常に古い例で恐縮ですが、原敬といふ政友會の總裁が居ました時に、原の頭は眞白だが、原の腹は眞黒いといふことを言つたとします。さうしますと、原の腹は眞黒いといふ場合に、ハラといふ言葉の意味には原敬の原といふものと、原敬のおなか、或は心といふものとの二つが含まれて居りまして、其の二つがハラといふたつた一つの音で二重のものが綜合されて居るといふ所に笑ひが出るのです。このシヤレは非常に素朴な、駄洒落でありますけれども、とにかくさういふところに駄洒落の意味がある譯です。

さういふ風に單純なものであつても、その單純なものを二つ合せて初めてそこに笑ひが出来る。眞つたうなものと、ひねつたものと二つ合せなければならぬといふことが、笑ひとか、一口噺とか、地口とかいふものの共通な性質である、といふやうなことが近頃の心理學で言はれ出して來た。さういふ風に二つの問題を解決しなければならぬから、頭の單純な者には出來ない。單純な者は極く素朴な笑ひしか持つて居ない。であるから笑ひといふものは知的に高度のものである。人間は、泣くことはなくなつても、笑ふことはやめなからう。人間がだん

だん向上して知的に高くなつて行けば行く程失敗は少なくなりますから、泣くといふことはなくなるわけです。しかし笑ふといふことはなくならないだらう、といふやうなことをある心理學者が言つて居りますが、そんな風に笑ひといふものは非常に高尚なものだらうと思ふ。それだけに小さな子供にはさういふ課題の解決といふものは不可能なものでありますから、本當の意味の笑ひといふものは解らないのです。かう言ひますと小さな子供だつて漫畫を喜ぶぢやないか、それをどうして呉れる、といふ風な質問が必ず出て來ることだと思ふのですが、子供に漫畫を澤山讀ませましてそれを觀察して居りますと、子供は漫畫を非常に好んで居りますけれども、その好み方といふものは、漫畫が狙つた所を好んで居るんぢやなくて、別の所で好んで居ることかわかるのです。本當は子供に丁度合ふやうな漫畫を與へたらもつと喜ぶのを、それをとんでもない所を狙つて居るんぢやないかといふやうな氣がするものが多い。それでは小さい子供、大體小學校へ上がる前後の子供は漫畫のどういふ所を喜んでゐるかと言ひますと、繪と文章と兩方載つてゐるといふ所に恐らく子供の漫畫を非常に喜ぶ原因があるんぢやないかと思ひます。漫畫の繪は御承知の通り非常に單純化されて居りまして、見れば直ぐ大事な所と、大事でない所が分る。ところが、繪本の方は色刷で、講談社の繪本なんかでも、私は印刷の方をやつてゐる人に聞いたのですが、これは大變なもので、これが三十五錢で出せるのは不思議な



くらむだといふやうなことでしたが、さういふやうに立派なことをやつてゐる。しかし漫画の方はさういふことはしてゐない。それだけに單純になつて居まして、何處が大事かといふことが直ぐ分る。普通の繪本はさうでなく、實物とチツとも違はないやうに描いてありますから、何處が大事か、大事でないか分らないやうな描き方が多い。漫画は大事な所が強調されて居りますから、見て直ぐ分る。それが先づ小學校へ上がる前後の子供の要求に適つてゐる所です。それからもう一つは、言葉が口から出てゐる形、あれを田河水泡氏は、吹き出しと言つてゐるやうですが、あれを全部取り去つてしまつて漫画だけを見せろ、即ち新青年の漫画のやうに、言葉を何にもくつ付けないで、繪を連続さして、その繪の連続の中から一つのギャグを見出して行くやうな漫画を子供に見せたら、子供は恐らく喜ばないでせう。繪の連続の所々に言葉の吹き出しがありまして、その吹き出しを讀んで行くことに依つて話の進行を滑らかにしますから、筋の把握が樂になる。では次に吹き出しだけにしてしまつて繪を全部除つてしまつたらどうかと言ひますと、吾々が漫画を子供に讀ませてそれを聞いて居りますと、繪を見ないで聞いてゐても、大體どういふ風に話が進行してゐるか分る。さういふやうに吹き出しの文句は筋を抽出してゐる。ところが子供はその吹き出しの文句だけ聞いてゐては面白くない。吹き出しの文句を聞いてそれだけでも分るやうに單純な筋が巧みに書かれてゐる上に、それを補ふ具體的

な繪といふものが付いてゐる。つまり二重に物語の把握といふものが易しくされてゐるといふ所に、小さい子供が漫画を喜ぶ理由の一つがあるんぢやないか、といふ風に考へられるのであります。つまり言葉だけでいろ／＼な風景を想ひ浮べて鑑賞するといふことは、子供の言葉の發達といふものがまだ十分でありませぬ爲に餘り子位は上手でないのです。ですから、噺のやうなもの、たゞお父さんやお母さんから、やさしい噺、何過も／＼聽かされた噺をもう一遍聽かして貰ふことは、子供に取つて非常に愉しいのであります。難かしい噺、漫画に出て來るやうな噺をイキナリ、繪を付けないで話されたら、恐らく初めは半分しか理解しないだらうと思ふ。半分しか理解しないといふことは、子供に取つて噺が餘り面白くないといふことでもありますし、又むつかしいといふことでもあります。それで喜びが少い。漫画のやうに繪が付いて居りますと、文章の方で分らない所は、繪はスツカリ具體的になつて居つてその方で分りますから、非常に樂に噺が把握出來るといふことになるので、やさしいといふことが實に大きな理由になつて——やさしいといふことはかりが漫画の喜ばれる理由ぢやありませんが——小さい子供、小學校へ上がる前後の子供はさういふ所に漫画を好んでゐる原因があると思ふ。先程の水谷さんの編輯されました「熊の家」の話は、これは漫画でも何でもないので、非常に滑らかな物語の進行なんです。さうして割合に單純な、美しい文章で書かれてゐる。そこが



子供によるこぼれる原因なのでせう。

四二

ですから私は斯ういふ説を前から持つて居ります。つまり低學年の子供、或は小學校へ上がる前の子供に與へる漫畫といふものは、探ぐりとか、笑ひとかいふものを意識的に狙ふよりも話の進行を滑らかにした物語がいふこととす。ところが最近丁度低學年向きの漫畫映畫を東日で作つた。これは「森の狼」といふ、赤頭巾の話を漫畫にしたのでありますが、それは繪なんかチツともをかしい繪ではない。赤頭巾が歩いて行くと、狼が先に行つて、お婆さんを殺して食つてしまつてお婆さんに化けた。さうしてそこに赤頭巾が行つて、狼に食はれやうとする所を、猫が助けて呉れる、といふ單純な繪物語です。それを小さな子供に東日で見せた。ところが子供が非常に喜びまして、今までこんなに喜んだ漫畫の映畫は無かつたと言はれてゐるのでありますが、さういふことを眼の前で見まして、兎に角小さい子供の漫畫といふものは恐らく笑ひを要求してゐるんぢやなくて、今言つたやうな話の非常に滑らかな進行、やさしく話が把握出来ることを要求してゐるのだといふことを感じたのです。

ところが、三四年以上になりますとさうでないのであります。ひねつたことが分つて参ります。尋常三年ぐらゐになりますと、學校生活の意味が大分わかつて來る。學校生活にはいろいろな規則がありますが、さうしますと、その規則に外れたやうなことを子供は笑ふやうになる。

例へば、六月一日から夏の帽子を被つて來る。みんな夏帽子を被つて來たが、一人だけ冬の帽子を被つて來たといふやうなことになる。それが笑はれる原因になる。さういふやうに規則に當嵌まらないといふやうな、眞つたうなものから外れたものを理解する力といふものが出て來る。精神の能力が發達してさういふことが出て來るのです。隨て漫畫のやうなものも或る程度まで知的な課題を含んだものでも理解出来るやうになつて來る。ではさういふやうな漫畫の中でどういふものが一番初めに子供に分るかと言ひますと、をかした言葉を使つた漫畫です。今度内務省で統制される前には、漫畫の中に悪者の言葉を使つたものが割合に多かつたやうに思ふ。私が前に集めて居りました、これは子供にはチョット讀ませられない漫畫だと思つて藏つて置いたものに、アルセーヌ・ルパンを漫畫にしたものがあるのです。アルセーヌ・ルパンの相手としてアルセーヌ・アンバン(笑聲)といふのが出て來ます。それがアルセーヌ・ルパンとドロボーの競争をするといふ漫畫ですが、話としては非常に波瀾萬疊でありますから漫畫になりいふ。ところが、その中に出て來る親分とか、或は乾分とかいふものが非常に下品な悪い言葉を使ふ。恐らくそこが子供に受けるんだらうと思ひます。普通で言へば子供は眞つたうな言葉を使つてゐる。あまり變な言葉は家では使はされないのであります。さういふ風な少し外れたやうな言葉の面白味といふものに非常に強く惹き付けられますので、今いつたやうな

四三



のが喜ばれるといふことになる。尋常二三年ぐらゐの子供でも、山賊が出て来たり、或は追刺が出て来たりして悪い言葉を使ふ漫画ならば、相當子供が読んで喜ぶだらうし、今まで恐らくさういふものを読んでたらうと私は考へる。これは教育の方から言ふと甚だ困ることなんです。あゝいふ言葉は割合に子供が憶えいゝやうな言葉です。日本語の發音とし、は強い發音が多いのですから、直ぐ憶えてしまふ。子供の頭といふものは奇妙な構造を持つて居りまして、百遍教へても二百遍教へても憶えないやうな言葉があるかと思ひますと、あまり憶えて貰ひたくないやうな言葉を一遍で憶えてしまふ。山賊の言葉なんかその方に屬するので、悪い言葉を憶えて仕様がな。それが一番内務省の方では氣になつたんぢやないかと思ひます。私の家の子供なんかは、ヒヤーツとか、ウフエーツとかいふ言葉をよく使ひますが、これはみた漫画で憶えた(笑聲)ものです。これは言葉だけを憶えるんぢやなくて、さういふ絶えずビツクリしてゐる氣持まで憶える。どんなものが来ても驚かないといふやうな氣持がだん／＼減つて来て、つまらないことにさういふ奇聲を發するやうな氣持といふものを憶えたんぢやないかと私は思ふ。昔の人は、私の家の子供ぐらゐの時に何を讀んだかと言ひますと、大體四書五經の素讀といふものをやつた。身體髮膚之を父母に受く、敢て毀傷せざるは孝の始なりとか、造次顛沛と雖も決して驚かないとかいふやうなことを日常やつて居つた。ところが今の子供はさういふ漫

畫で育てられて、絶えずつまらないことにビツクリするやうな氣持を養成されて居る。さうすると日本人の性格といふものは、大きく言へば漫画に依つて頽廢せられて來るといふ處があるわけです。なにしろ子供は漫画が好きですから朝から晩まで讀んで居る。昔の子供は暇さへあれば——といふこともないでせうが、四書五經を讀んでゐた。さういふ時代の子供の精神と、漫画ばかりで育てられてゐる子供の精神とは恐らく違ふんではないか。だから漫画といふものもあだ疎かには出來ない。漫画といふものをやめてしまへといふわけではないのですが、或る程度まで慎重に考へて貰はなければならぬといふことが言へる。これは松前さんの先程のお話にも關係があると思ひます。漫画に依つて子供の精神も自然その中には影響されて來るので、言葉を通して子供の精神といふものも多少窺はれるのであります。言葉があまり漫畫的になつてしまふといふことは怖いことです。さういふことを考へて行かなければならぬのです。

その次に、もう少し大きくなりました子供に喜ばれるのは、大人を馬鹿にした漫画です。作者の名前は預つて置きますが、『頓智太郎』などがさうで、大人と競争すると大人が何時も負けて子供が勝つ、といふやうなものを子供は喜ぶ。子供は實際の生活では何時でも大人に負けてゐるのですが、漫画の世界では大人に勝てるものですから子供は喜ぶ。さういふ種類のものが子供には喜ばれる。先程、氏家さんが、暢氣だから、空想を満たして呉れるから漫画が喜ばれ



るといふことを仰しやいましたが、さういふ趣旨で、つまり大人に敵はないといふ氣持が漫画の場合には破壊されて、大人を負すことが出来るといふ氣持を持つてゐられるわけです。それで子供に喜ばれるんだらうと思ひます。田河水泡君の漫画は、むかしは大人を馬鹿にするやうな漫画があつたが、近頃はさういふ所がなくなつて教育的になつて居ります。それは非常に傾向だと思ひます。大人を馬鹿にしたやうなものも恐らく教育上よくないんぢやないかと思ひます。たゞ斯ういふ場合には別だと思ふ。大人の誰が見ても大人の馬鹿々々しいやうな行爲を田河君が子供の漫画に依つて批判する、大人の生活の非常に馬鹿々々しい悪い點を子供の漫画に依つて批判する、といふやうな氣持を以て描いたものは、吾々大人でも「のらくろ」を讀んで笑ひながら、子供の漫画を通して大人自身がハツと反省させられるやうなものの中には無いではなかつたが、中には單に大人と子供、或は犬を對立して、大人の世界の方が犬の世界よりも悪いぢやないかといふやうなものを見せたりするやうなものがあつた。さういふ點はやはり考へなくちやならぬ點だつたと思ひます。それを田河君は考へて直して行つたのです。

それから漫画全體としての印象であります、今の様に漫画といふものを考へて行きますと低學年用の漫画は繪物語なんであつて、池部さんの仰しやつたやうな、本當の意味のナンセンスといふものの人生に於ける喜びといふやうなものを教へることは出来ない。本當に漫画の漫

書らしいものを教へ得るやうになるのは大體小學校の三四年以上、幼年俱樂部よりも少年俱樂部の讀者がそれに當る。その場合に特に重要視しなければならぬのは、池部先生が仰しやつたやうにナンセンスといふものの意味を吾々は把握しなければなりません。又さういふものを把握することに於て私も決して人後に落ちないのであります、それは畢竟キャラメルだといふことです。それが御飯ぢやないといふことです。ところが今の子供は漫画を御飯にしてゐる。朝から晩まで漫画ばかり讀んでゐる。さういふ子供はよくあります。御飯の時間になると、お腹一パイだよと言つて御飯を食べないで、普通の時間にキャラメルばかりしやぶつてゐる。さういふ子供は大低瘦せてゐる。日本の子供として將來あまり感心したものぢやない。勿論キャラメルは大切で、これを與へることは必要であります、御飯の間に與へるやうにしなければならぬといふことです。御飯になるのはやはり外の讀物です。漫画を御飯の代用にするといふことは考へて貰ひたい。漫画の分量を制限するといふやうなことでこれが出来れば、さういふことをしたらいゝぢやないかといふ風に私は考へて居ります。しかし、最近漫画が非常によくつたと私は思ひます。恐らく讀物よりも漫画の方がよくなつて居る。内務省があゝいふ風にいろ／＼なことをやりましたが、明日からでも改良出来ることと、直すまでに一年なり二年なり掛られなければ出来ないこととある。活字の大きさを變へるとか、ルビを除つて



しまふとかいふことは、やらうと思へば明日からでも出来ることではありますが、漫画を内容からよくして行くといふやうなことは、これは明日から直ぐといふわけには行かない。どうしてもやはり一年なり二年なり置いて、いゝ漫画が出来て来たならば、これは何處がいゝか、どうして子供に喜ばれるか、といふことを皆で考へて、だん／＼いゝ方に持つて行くといふことをやつて行かなければよくはならない。私共でも、西洋のいゝ漫画を挙げると言へばそれは幾つか挙げる事が出来る。例へば「サンボの物語」これは漫画とは言へないかも知れませんが、子ども「コドモノクニ」で以て三つか四つ取りました。これは物語としても非常に面白い。「サンボと虎」といふのは、「コドモノクニ」に大分前に譯された。サンボが立派な着物を着て出掛けて行きますと、三匹の虎が出て来て、「帽子を呉れ、呉れないと食つちやふぞ」と言ふので帽子をやつた。すると今度は別の虎が出て来て靴を呉れと言ふ。そこで又靴を取られてしまふ。その次は洋服を取られてしまふ。さうすると、その三匹の虎がみな全部欲しいものですが、三匹の虎が喧嘩を始めて、木の周囲をグル／＼廻つてゐるうちにスツカリ汗ダク／＼になつて油になつてとけてしまふ。そこでサンボは着物其他を全部取り返して歸つて来たといふのですが、そんな漫画的なものはあります。しかし、さういふものは何處までもやはり西洋的なものであります。そんなものを直ぐ焼き直してもそれがいゝとは限らない。やはりどうして

も吾々の手でいゝ物を拵へ出して行くといふ風にしなければならぬ。それにはやはり一年なり二年なり皆で考へて行くといふことが必要です。子供は確に漫画を喜ぶのでありますから、その喜ぶものでいゝ物を與へてやれば、恐らくいゝ影響があるに決まつてゐるのであります。むかしの子供はお砂糖も何も殆ど嘗めることが出来なかつたのですが、今の子供はキャラメルといふやうなものを食べる爲に、或る程度まで確に身體はよくなつてゐる。漫画も適當な正しい方法で與へたならば、恐らく子供の精神にこれからの日本に相應しいやうないゝ影響を與へることが出来ると思ふ。これは皆でやつて行かなくちやならないことだと思ふのであります。熱心な人達が寄つて、さう焦らないで一步々いゝ物に近づける。いゝ物といふのはやはり何處か新しい所がある。絶えず新しいものを考へて行かなければならぬ所が漫画家の骨の折れる所ですネ。笑ひといふものは、一遍笑へばモウ二度目にはをかしくない。さうするとその次には新しいことを考へて行かなければならぬ。悲しい方は何遍讀んでも悲しい。椿姫なんかは何遍讀んでも悲しいが、笑ふ方は何遍も聴くと今度は憤りたくなる(笑聲)。ですから、内務省にいゝ物を示せと言つたつて、新しいものですからさう簡單に示すわけには行かない。みんなで衆智を搾つてだん／＼いゝ物を作つて行くより外に方法が無いだらうと思ふ。それで、これだけ大勢の人がお集りになつたのですから、みんなで考へて行くといふことがいゝんぢやないかと



思ひます。大變長いことどうも……

**酒井** 松前先生、チョットお願いがあるのですが、只今漫画をキャラメルといふ例をお出し下さいますとよく分つたのですが、森永製菓会社が、キャラメルを食べると薬になると言ふやうな立場から、やはり吾々も、漫画を読めば薬になるといふやうな宣傳は營業上しなければならぬと思ふのです(笑聲)。キャラメルが御飯の代用になるといふ宣傳をするか、しないかは別として、主食物でなくても副食物でも或る程度までためになるといふ風にしなければならぬ。それは吾々が漫画をお描きになつたものを子供の世界に運ぶ一つの媒介者としてのポストからさういふ風に考へるのです。今まで漫画をお書き下さる方面の方々から、漫画の行くべき途といふやうなお話が少いやうに思ひますが、もう少し漫画をお描き下さる方々から何かさういふやうなお話を伺ひたいと思ひますが……

**松前** 今のお話で大體仰しやつたことは分つて居りますが、實は恐らく今の波多野先生の御意見については皆さんから御意見なり、御質問なり出て、いろ／＼な問題もあるだらうと思ひます。そこで今キャラメルの問題も出たのですが、キャラメルと子供の健康の問題との引例は波多野先生の一寸ミスだつたんぢやないかと思ふのですが……

**宮尾** 簡単に言へることがあるんです。一番いゝことは業者の方が畫家にもつと原稿料を澤山出

すことです。田河君がよくなつたといふのは、収入がよくなつたから自然と勉強するんです。今赤本描いてゐる連中に聴きますと、原稿料があまりに安い。いゝ物を描かせたかつたら、業者の方がもつと金を出して、時間を與へることが一番いゝ。役人や教育家の方は自分が骨折つて作つたものぢやないから何とでも言へますが、實際にぶつつかつてゐる漫畫家になりますと實際安い金を貰つてゐていゝ物の出来る筈がない。今の一枚一回程度のやうな原稿料を一枚十圓程度の原稿料にすればいゝんです。これは私、赤本描いてゐる連中を代表して言へると思ひます(笑聲)。

**松前** 此處の時間が四時までといふことだつたさうですが、交渉しましてギリ／＼結着四時十分まで使用することが出来ることになつたのです。それで今から申しますと一時間十分程の間に、もつとしなければならぬ大きな仕事があるのでございます。波多野先生に對する御質問や何かはこの次の話の中に自然關聯を持つて來るものだと思ふのです。先づ一部の所だけを縮括りをして戴いて、これからの話は、ぢやア今後の漫画をどういふ風に持つて行きたいか、どういふ風を持つて行くのが一番適切か、といふ問題でございますネ。只今宮尾先生の仰しやつたやうに、原稿料をウンと奮發しろといふこともその一つの問題だと思ひますが、その外にはまだいろ／＼な個別的な問題もあつて、皆さんがお父さんとして、或はお母さんとして、自分の



子供に斯ういふ漫画は興へたくないが、本屋で斯う言ふから仕方がない、描いて置けといふやうな問題でなく、漫画家の方から申せば、自分の子供にもこれは興へたいといふ程度の御希望を、或は又本屋さんの方は本屋さんの方の立場としての御希望を、或は教育家は教育家の立場としての御希望を述べて載いて、新しい建設的な意味の論題に入つて載きたいと思ふのでございますが、その前に藝術繪畫といふ立場から、或は又お父さんといふやうな立場から今までの締括りを西澤先生に一つお願ひしたいと思ふのでございますが、如何でございますか。さうして今度新しい建設に對する用途を何か一つ出して置いて載くと、あの方の話の進行上非常に都合がいかと思ふのでございませうか……。

西澤 それぢやア大變恐縮ですが……。私は漫画については門外漢で、今日は皆様のお話を伺はうと思つて此處に参つたのですが、伺つてゐる間にいろ／＼考へましたことがありますが、或は少し無鐵砲なことかと思ひますがお聞流しを願ひます。

この頃漫画も非常に進歩して、私達拜見しまして大變結構だと思つて居りますが、それについて一番の希望は、作者にも、それから出版なさる方にも、第一に卑俗なものを却けて載きたい。これが重大問題ではないかと私は思ひます。それはどういふのかと言ひますと、監督官廳と言ひますか、今問題になつたやうなお役人といふものは始終變化をします。その人達の言ふ

ことも無理のないことではありますけれども、時々要領が違つて居る。それを一々用ひて居つてはなか／＼立派なもの出来ない。そこでどうしても繪をお描きになる方、或は出版される方がもつと自信を持つて、この漫画ならば世間に出してチツともをかしくない、或は世間をリードして行く上に必要だといふやうないゝ物——それは今私が申しました卑俗な表現法とか、或は卑俗なテーマ、さういつたものを全然排斥して、それに今宮尾さんの御希望のあつた、謂ゆる出版業者の方からは十分に原稿料でも出して成可くいゝ作品を作る、又出版をなさる方も協力して、卑俗なものだつたらこれを出版しないといふやうにすれば、自然作者も立派なものが出来て漫画家が向上して行く。先刻どなたかのお話にありましたやうに、無論、ろ／＼な意味で子供の中にも程度があつて、さう高級なものばかりがいゝとは申しませんが、私の申すのはいろ／＼な意味で年配なり何なりに適當した品位を持った漫画といふものが現はれて來れば来る程、漫画が教育とタイアップして立派に世間を指導して行き、先刻お話のあつた四書五經のやうなものと同じやうな役立ちをして行く、さういふことが痛切に感じられる。出版される方は無論賣れるといふことが第一義ではありますけれども、そこをもう少し深くお考になつて、或る場合には少しぐらゐ賣れなくても、これならば後に何か一つの中心を成すものになるんぢやないか、といふやうなことに全力を擧げて出版をするとか、或はさういふものを世



の中に残して行くやうにお心掛けになることが、漫画家の向上して行く第一歩ではないか。さうして又、監督官廳のいろ／＼な言葉にはあまり耳を藉さない。つまり自分達の方の見識で向ふを引張つて行くだけの自信を持つて戴くといふことが差詰め必要でないか。さういふやうな例は自分達の關係してゐる玩具界にも随分あることで、お解りにならない方が、斯ういふ玩具を造つてはいけなとか、いろ／＼干渉して参りますけれども、結局こちらに自信があつて、斯ういふ理由でこれは造つて行くのだといふことを懇々として説明すれば、必ずや向ふが最後には征服されて、さういふものが世間に出て来れば来る程そのものが盛になつて行く。漫画界で言へば漫画界全體が盛になつて行き、さうすれば結局漫画を描く立派な人が澤山出て来る。つまり先刻宮尾さんが仰しやつたやうに、待遇がよくなつて来るといふ作品が出る——待遇がいふからいふ作品が出るといふのは言葉としてはどうかと思ひますけれども、どうしても待遇がよければよい程立派な作者も澤山出て来る。さうすると業者の爲にもよし、漫画界の爲にもよいといふことが具體的にハッキリ言へるんぢやないか。先刻來伺つてゐる話は私に取つて非常に参考になりました、一々自分の方面にまで應用の出来るいふおだと思つて伺つて居りましたが、自分の考へついたことはまアさういふことに歸着するわけです。美術界でも文部省の改革などでいろ／＼波瀾が起つて、昭和十一年來殆ど美術界を收拾することが出来ない程にし

たのは、結局當局の人が美術界の現状を知らないで美術界を改革しようとした爲めでありすが、それと同じやうに漫画界でも、漫画界全體のことを知らないで監督官廳でいろ／＼あしろ斯うしろといふ干渉があつた場合に、漫画に關係の方、つまり作者、出版者の立派な見識と自信とを持つた方が寄つて、堂々と向ふを説法するだけの用意があれば惧れることは無いと私は思ふ。結局漫画界にこれから必要なことは、先づ第一に卑俗な課題なり、表現なりを排して、さういふものを描く人を努めていい方面に導いて行く。それは今申上げるやうに財的にも關係があり、又教養上にも無論關係があると私は考へてゐるわけです。皆さんのお話を伺つて自分達はたゞ敬服するだけで、私の考へついたのはそれだけであります。

松前 どうも有難うございます。それでは皆さんに御異議もありませんけれども、時間の關係上まことに恐入りますが先へ進ませて戴きたいと思ひます。

西澤先生のお話もございました通りに、監督官廳の方針といふものは何時でもその時／＼に依つて變るが、それに對してこちらは漫画關係の方々がお互に理解し合つて新しい漫画方針といふものを或る程度まで纏めて行きたい、この會としてはそこまで行きたいと思つて居ります。結論がつかなければ、どうもこの會の趣旨も皆さんにお寄り戴いたのに對して何にもならないわけです。結論といふものまでハッキリつかないに致しましても、形だけでも臆氣ながら



「斯ういふことが今後の漫画界の傾向或は行くべき道だといふやうなことでお話し合ひが出来たら、今日のこの會の効果が非常に擧がることになると思ふのでございます。それで實はあとはモウ御指名申上げるやうなことはよさして載せて、皆さんでドン／＼お話を進めて戴きたいと思ふのでありますが、一番最後の結びだけ御指名さして戴きたいと思ふのは、一寸と伺ひますと新關先生はお四方のお父さんでいらつしやるさうで、お父さんの立場として、又一面に於て漫画をお描きになる立場として、兩方のお立場から、今後の漫画はどういふ風に描いて自分達の子供に與へたいか、といふやうな意味で一つお話し願へないでせうか。この事は新關先生ばかりでなく、池部先生、宮尾先生方にも一つ是非お願ひ申上げたいと思ふのでございます——ただ出版する繪、頼まれた繪、新聞社へ描く繪、雜誌社へ描く繪といふ意味でなくして、御自分がお父様として自分の子供に與へる漫画としてはどういふものがいいか、といふやうな問題で一つお話し願へないでせうか。御指名申上げてまことに失禮でございますが、お三方に尙ほ是非お願ひして置きます。

**新關** 先程いろ／＼よい漫画といふお話がありまして、その定義といふ問題がありました。斯ういふのは話が非常に抽象的になつて、結論といふものは言葉の上で出来ても、實際問題としてはなか／＼さう旨く行くものぢやないと思ひます。自分の子供に見せる漫画といふものと、

自分が描く漫画といふものとは、私は別に離して考へて居りません。同じものぢやないかと思つて居ります。これから先、漫画をどういふ風に描いたらいいか、どんな道を取つたらいいかといふことで私の今ハツキリ申上げられるのは、最も経験の豊富な親切な方が、心底から子供が可愛くて描かれる漫画といふのが一番いゝんぢやないかと思つて居ります。まア吾々随分経験も浅いものですから、子供と一緒に遊んで居りまして、力が剩つて子供を突きとばしたり、或は膝小僧の怪我一つぐらゐはさせたりすることもありますが、さういふことの無いやうに——といふことは、波多野先生のやうな秩序立つて研究をなさつた方のお話を伺つて、過ちを出来るだけ無くして行きたい。先程お話のありました童畫家が漫画家になるといふやうなことは、これはチョット私には考へられないことです。童畫家が漫画を描く場合でも、結局さういふ出發點でなければいゝ物が出来ると思はれない。

それから内務省に關するお話は、どうも斯ういふ所で内務省のお方がお出でにならないのにお話するといふのはどうかと思ふのです。間接射撃といふのはどうも誤解を生じ易いし、この速記がどういふ風にして廻つて手に入らぬとも限らぬのです。この場合内務省の方が居て下さるとお話を伺へるのですが、一方的ですとどうしても面白くない結果になるんぢやないかと思ひます。齋藤さんからいろ／＼さういふお話がありましたけれども、成可く數多く内務省の方



に會つて、内務省の方に關する限り、物の善惡に關する考の一致點を成可く多く見出すやうに心掛けたらいいんぢやないかと思ひます。

それからもう一言、それは現代の漫畫といふものの響が非常に悪くなつて居ると思ふ。先日或る小學校の父兄會を參觀した時の話なんですが、或お母さんがお起ちになりまして、どうも自分の子供は漫畫ばかり見て困る、先生方はあれに對してどういふお考をお持ちですか、といふ質問がありました。それに對して先生は、あれは文部省の嫌はれものですからよした方がいいでせう(笑聲)、といふ話でした。チョット話をかしいので、どういふ點がいけないから具體的具體的に伺ひたいと申上げたところが、實はさう言はれると、あまり讀んでゐないから具體的なことはチョット申上げられない(笑聲)と言はれた。それではお母さんは、子供が漫畫を見てどういふ所が一番御心配ですか、と申上げる、朝から晩まで漫畫を讀んで居つて教科書なんかチツとも讀まない、教科書をあゝいふ風に讀んで貰つたらいいんですが(笑聲)……。私は漫畫といふものに對して兎や角申すだけの知識はございませんが、たゞ新聞なんか見ますといろ／＼と評判の悪い記事も折々見受けますので……言葉は違ひますが、さういふ意味のことを言はれて居りました。何かボンヤリした不安を感じて居らつしやる。しかし、今漫畫の本にしる少年少女の雜誌にしる、大體、内務省の内閣を濟んだものですから、強ひてお奨めする程のも

のではないにしても、子供に讀まして悪いといふものは無いと思ひますが、と申上げたところが先生は、それならいいぢやないですか(笑聲)……。さういふお話もあつたのです。それが今大體世間から受けてゐる漫畫の取扱はれ方ぢやないかと思つて居ります。お母さんも、知識階級の方も、吾々が盛り込んだ所を割合に御覽にならないで居らつしやるんぢやないかといふことも氣になつて居ります。この邊で……。

松前 今のお話で、盛り込んであるものといふお話があつたのですが、それで面白い話があるのでございます。それは數年前、尾上松之助、目玉の松チャンですネ、あれの忠臣蔵が文部省の推薦映畫になつて、非常に太鼓を敲いて方々で随分やつたものです。その時に私の知つてゐる子供が、そのお父さんが嚴格な人で、活動寫眞は悪いから見せぬといふことで子供に見せて居らつしやらなかつた、ところが文部省の推薦映畫だからいいだらうといふので見せにやつた。その子供の話なんですが、私の所に来て、初めて活動寫眞を見て來た、先生、面白かつたですよと言ふ。どういふ所が面白かつたかと訊くと、あの刀を持つてヤツと斬込む所が面白かつたと言ふ。結局ストーリーでなくて、チャンバラが面白かつたといふことに結論が行く。さういふ點、今仰しやつた事と同じやうな問題を實は感じたのです。

新聞 實は濫讀の問題ですが、手前どもの子供は、家に漫畫の本が氾濫してゐるので、黙つて居



りますと朝から晩までその本ばかり読んでゐる。それでは學問の方に影響しますので、土曜と日曜以外は絶対に読ませない。これは實は漫畫が悪いといふよりも、私達の手が届かないんぢやないかと思つて、これはお父さん、お母さん、或は學校の先生にお願いする外はないと思つて居ります。濫讀の悪いといふことは私も十分知つて居ります。

それから割合に自分の苦心して盛込んだものは子供の興味を呼ばないで、そこを素通りするんぢやないかといふ心配があるのであります。これは實は直接波多野先生にお伺ひしたいと思つて居りますが、具體的に本を持つて参りましてお伺ひに出ますから……。

**波多野** 子供がその中に盛込んであるものを解つてない場合もあるのです。それでもさういふものを必ず解らせる必要はないのであつて、興味本位でズツと見て居ればいいのです。さういふものが三年なり五年なり子供の心の中に溜まつて來るでせう、それが大事なです。その所に斯うでなくてはなりませんヨと言つて一々御説教を加へると漫畫ではなくなる。それはモツ修身ですからネ。

**新關** どうも修身になりがちで、その所が非常にむつかしいのです。言葉一つ入れましても修身になつてしまふものですから……。

**波多野** さういふものは知らず識らずの間に子供の心の中に油のやうに溜まつて來てゐる。さう

いふ風に知らず識らずに溜まつたものの方がいい。尤もこれは悪いものが溜まりますと、恐ろしいことですが――。

**小\*** その事は内務省が、教訓的にあらずして教育的といふ言葉でハツキリ言つて居るのです。内務省や文部省の肩を持つわけぢやないのですが、當局の方が今の所では積極的な意見を持つて居りまして、寧ろ漫畫家とか兒童教育者の方が立後れの感があるやうに僕は思ひます。知的な仕事、文化的な仕事といふ意味に於ては教育者、執筆の方々は各部門について研究していろいろ専門的であるかも知れませんが、今業者がいゝ本を作らなければならぬといふ現實的問題の立場から、業者そのものが一番積極的な意見を持つてゐるやうに思ふ。文部省なんか、教訓的でなくして教育的といふやうなことを言つて居るが、それがどういふ意味かといふことはハツキリ言はないのですけれども、それについての僕個人の意見は、それは或る大人のイデオロギーといふやうな、或る觀念的なもの、或る固まつた意見を與へるのでなくして、今新しい現實の合理性を傳へるといふ方法であれば、それがつまり教育でないか。つまり科學性とか、現實性とか、誤りない現實の具體性を與へればそれでいいのではないか。當局にはいろいろな部門があつて、それについてはいろいろな意見を一般の人に言ふかも知れない。しかし、その中で少くとも兒童部門に關する意見については可なり追隨していいものがあるんぢやないか、



といふ意見を持つて居ります。外のものについては直ぐ追隨していゝとは言へないのですが、児童の精神の俗悪性を改革するといふ意見に對しては、僕は可なり肯定していゝものがあるのではないかと思ひます。それにはやはり、繪本出版が或る文化的な意義を持つて居るといふ認識を業者と執筆者に持つて貰ふ、といふ所に最初の基本的な出發點がてるやうに思ふのです。

松前 今小熊さんのお話で、この會として今の席上に非常に参考になるやうなことを言つて戴いたのですが、小熊さん御自身がお考になつてゐるよい繪本といふスケール、斯ういふものを子供に與へたいといふ風な問題、先刻新關先生が、さういふことを具體的に話すことはむづかしいと仰しやつた、それは確にさうに違ひないのですが、例へばストーリーにしても、その取材とか或はそれを表現する形態、手法とか、或は色彩、繪と言葉との問題とか、さういふやうないろ／＼な條項に亘つて、今咄嗟に、どういふのがいゝのかと申上げてどうかと思ひますけれども、大體お考になつて居らつしやる、いゝ漫畫といふ理想といつたやうなものを一つよかつたらお話し戴きたいと思ふんですが……。

小熊\* それについて斯ういふ意見を持つてゐます。新關さんが、言葉の上では解決するが現實の上では困難だといふ問題は、やはり出版業者と執筆者の間に一番多くあるやうに思ふ。今の原稿料の問題なんかでも重要な問題だと思ふ。しかし、その中の色刷の場合も、必ずしも繪描の

色が色感的に悪いといふことは言へない。皆さんの眼に觸れてゐる色が悪いから、原稿そのものが悪いとは言へない。初版が出て版を重ねると色が悪くなるといふ問題も起きて来る。さうすると印刷機構との關係、その他いろ／＼な接觸が出て来る。さういふ問題は斯ういふ席上で言ふことはむづかしいといふことになると思ふ。又原稿料を高くすることは賛成です。しかし赤本の原稿料が安いといふことは、一體高いといふ基準がなければさういふ意見は出て來ないわけです。それでは何處が一番高いといふ標準になつて居るかといふ問題も出て來るわけです。これはやはり講談社あたりが基準だと思ふ。しかし、漫畫の場合、講談社に描いた場合は講談社的なイデオロギーでいろ／＼な注文がある。その制約といろ／＼交渉してそこに納めるといふわけだから原稿料が高い。しかし赤本屋のものは自由に描いても納まるといふ意味に於て原稿料が安い。それだけ氣苦勞がないといふこともあるわけです。さういふ意味で、漫畫家が講談社中心主義或は至上主義とかいふ考へ方を捨て、又出版者が講談社の出版に追隨すれば賣れるといふ見解を別にして、漫畫を出版するものとしての獨自な方法に依つて、やつて行かなくちやならぬといふ意見を持つて居ります。自由に描かれるといふことは、自由に才能を伸ばされるといふ意味でもあるわけです。その意味に於て原稿料の高い安いといふ問題で解決されないものがあると思ふ。



松前 チョットお話中ですが、さういふ現実的な問題でなく、あなたの今考へて居らつしやる「いい漫画」赤本に描くとか講談社の繪本に描くとかいふ問題でなく、現実にあるか無いか分らないけれども、斯ういふ漫画が出来たらいいなアといふ、さういふものをお話し願へませんか。

小熊 それは繪本と漫画と劃然と分れてゐるのです。實は繪本の方の仕事が漫画の方よりも先に出来なければならぬ性質のものである。その問題は、例へば漫画といふ表現は繪本の表現と全然違ふ。童畫の世界とも全く違ふ。たゞ童畫の中にユーモアを入れれば漫画になるといふ問題でなくして、精神の上に於ては繪本と漫画、或は童畫も同じもので、漫画の場合は創作方法が違つて漫画といふ形式が生れたといふ意見を持つてゐるのです。さういふ意味に於て創作方法といふものは漫画家に委せて置いてもいいと思ふ。繪本の中にユーモアを入れたから直ちに漫画になる、童畫の中にユーモアを入れたら漫画の形式に常嵌まるとは言へない。笑はせないといふ世界が繪本の世界で、例へば現實に在るものを正確に教へるといふやうな寫實的な方法などが採られると思ふのです。手つ取り早いのは繪本の方の仕事だと思ひます。なぜ漫画の方が手つ取り早くないかといふと、表現形式に對するいろ／＼な問題を多く持つてゐるといふことにあると思ひます。

坂本 私、文部省の者ですが、文部省を代表してといふ意味でなく個人として申上げたいと思ひ

ますが、今文部省と内務省とゴツチャにして議論なされたやうですが、内務省の方であゝいふ統制的な處置をお執りになつて、悪い方面を成可く無くさうとして居られる傾向がある。それと同時に文部省の方では、今度良書推薦といふやうなことをやつて、斯ういふものがいふのだといふことを示して、見本といふのはをかしいのですが、指導的な意味を持つて行きたいと思ふ。これは監督官廳も研究してやつて行かなければならぬ。漫画の方で吾々が見ていけないといふのは、卑俗なもの、俗悪なものです。それは勿論内務省あたりで發賣禁止にするとしても、そこを通つたものでも、どうも兒童の御機嫌を取るといひますか、兒童に阿ねるやうなものが實に多い。それからクスグリ、これも子供を大人と同じやうに單にクスグるといふことに過ぎないやうなものが多い。さういふ状態ぢやないかと思ふ。もう少し創造的な、子供の心を育て、行くといふやうなもの——これは兒童讀物一般について言へることではありますが、漫画の世界に於てもさういふ創造的なものが含まれて行かなければいゝ漫画は出来ないのではなにか。それには先刻波多野さんが言はれたやうに、幼兒の世界とか、或は小學校三四年の世界、五六年の世界と、それ／＼興味の中心が違ふから、さういふことをお考になつて、その時代に適應した兒童物をお作りになれば、結局兒童も喜ぶし、それが文化的なことになるんぢやないかと思ふ。現在の所ではどうもさういふやうなものが少いぢやないかと思ひます。



山根 私にも一言喋らして戴きます。私は厚生省の傷兵保護に對する小國民の教育の係を仰付かりまして、専ら立案していろ／＼やつてゐる者であります。大分漫畫とは縁遠い者です。傷兵を漫畫で現はして貰ひたいと申しましたが、君ヶ代を三味線で弾くやうなもので、なか／＼現はしにくいものです。傷兵保護院の方に漫畫協會の方二十幾名漫畫を御寄贈なさつてゐらつしやいますが、それをまだ用ひることが出来ないで困つてゐるやうなわけです。さういふことはどうも漫畫で現はせないといふ不便がある。私の商賣についてこの席でどうしよう斯うしようといふのぢやありません。私の今申上げたいのは、私三人ほど子供を持つて居りますが、その三人の中のなかのが殆ど漫畫狂(笑聲)でありまして、自分の好きな本を買へと言つて時々金を渡しますと、必ず漫畫の本を買つて來ます。私は自分で進んで漫畫の本を持たしたことはないのです。時々自分の好きなものを買はせましてさう致すのでございますが、これは性格がすべて漫畫的になりました、私の家全體をそれが漫畫にしてゐる(笑聲)。人間そのものがモウ漫畫なんです。この漫畫の人物、いゝ所があります。非常に朗かです。諦めが非常に早い。物事に蟠りがない。如才がない(笑聲)。さういふ長所を持つて居ります。それはあとの二人の兄弟に比較しまして著しく目立つ長所です。ところが、この子供は他の子供に較べまして斯ういふ短所を持つて居ります。非常に茶目です。輕薄です。さうしてませ過ぎて居ります。それから

物事を表からコツ／＼とやることが嫌ひで直ぐ裏に廻る(笑聲)。非常に不作法です。それから物事を半可通です。本當に物を究明致しません。十の中三ぐらゐる分るとそれで直ぐ結論に到達する。上滑りです。先程もお話が出ましたが、私も小學の初年級で中庸とか、大學の素讀をさせられたものですから、その流儀でやらうと致しますと、これだけはどうにも斯うにもなりません。漢文の自習をさせて置きました、ヂーツと後ろから覗くと、漫畫を讀んで居ります(笑聲)。私個人の意見をザツクバラに申せと仰せになりますと、先程波多野先生からも、尋常三年までは漫畫はいかぬ、繪断でいゝといふお話がありました。本當に繪断でいゝ、それから尋常三年以後、四年五年となつて参りますと、立志傳とか、或は講談といふやうなものでいいのです。その中に漫畫的のお話が入つて居つて、それで私は教育上十分だと考へます。ところが今はさうでなく、例へば漫才といふのが現はれて居りますが、あれはいろ／＼な話を引合ひにして、駄洒落とか、おどけた馬鹿けた話とか、ナンセンスの連続です。系統も何も無い。それを兎に角連続的に話して行く、それを非常に喜ぶと同じやうに、さういふ子供の話の中の漫畫的のものは子供が承知しないで、そのをかしい所、面白い所だけをピツクアップして、それだけで楽しむといふ考を子供らが持つて居りますことは、どうも私として子供の教育上あまり香しくない。漫畫の大先生の方々の前で斯ういふことを申上げるのは甚だ失禮と思ひ



ますけれども、私は親として痛切にさう考へて居ります。先程も漫画を飴にお警へになつた方がありましたが、全くさういふものでせう。それは必要でありますけれども、飴ばかりやつて居りますと齒が痛みまして、固い物は食べられなくなります。今の日本の幹部は漢學で鍛へた人間と私は考へて居ります。さういふ部分が今の兒童教育の根幹になるのであります。どうも今のやうに漫画狂ばかり出るやうでは、私も随分年を取つて居りますが、死なうと思つても死なれない(笑聲)やうなことになります。これだけ私は申上げて置きます。どうも失禮致しました。

松前 五味先生、小兒科のお醫者さんのお立場として、又お父さんとして、或は兒童問題を研究して居らつしやる方として、せめて斯ういふ漫画が出来たら、今仰しやつたやうな御意見も無くなるだらうとか、斯ういふのがあつたらいいなあ、といふやうな程度で、お考になつて居らつしやることを一つお話して戴けませんか。

五味 やはり漫画も大人の漫画と子供の漫画とハッキリ區別する必要があると思ひます。子供には子供特有の心理がありますし、又童心といふものがありますから、それをよく捉へて、それに順應したやうな漫画が最も必要であると思ひます。結論と致しましては、やはり教育的な、指導的なイデオロギーと言ひませうか、さうしたものを持つことが必要でないかと思ひます。

一つの思想を持ち、又一つのテーマを持つた漫画といふものは、それは決してむつかしいものでなく、子供として十分楽しめるものがありますし、又さうしたテーマを持つた中に於ても一つの健全なるユーモアがそこに盛込まれて居れば、指導的な、さうして又教育的な漫画として十分立ち得るだらうと思ひます。要するに、健全なユーモアの中に於てさうしたものを培ひながら自然に一つの事を教育的に、指導的に教へて行くといふ風な漫画があつたならば大變いいだらうと思ふのであります。兒童心理といふことは大變むつかしいことでありまして、勿論子供は大人と違ひますし、大人の心理状態から子供の心理状態を判定することは大變にむつかしいことでありまして、子供には子供特有の心理があります。例へば私達が日常よく子供の食物を制限したり、或は又食事時間を制限して居りますが、それを制限されるといふことは、子供に取りまして、一口に申しますれば、良心が早く發達するやうな傾向を取るのであります。漫然と子供に自由勝手な行動をさせ、子供に勝手に食物を與へて置くといふ方針を執りますと、どうも子供がいつまでもハッキリしない。やはり早くから食物を制限したり、或は又、こんな物は食べていけないとか、斯ういふ物を食べなさいとか、或は食事時間はキチ／＼としたがいゝとか、いふやうな注意を與へますと、子供ながらも早くからだん／＼良心を發達させるやうな傾向があるのであります。この意味に於きましてやはりたゞ面白い、をかしい、クスグリと



いふだけでなく、そこに多少教訓的な、指導的意味を持った漫画が大變にいゝ漫画ではないかと思はれるのであります。然らばどんな漫画がいゝかと言はれますと大變困りますけれども、例へば先程どなたかお話がありました「あわて者の熊さん」みたいなものをもう少し上品にして、知らず識らずの間にさうしたセツカチにならないやうな精神に子供を育てるといふ風なさうした教訓的な意義を含めた漫画が出て来れば大變いゝんぢやないかと考へるのです。

酒井(朝) 只今、漫画の持つて居りますいゝ方面も相當ありますし、又漫画から受ける悪い影響も相當あるのでございますが、悪い性格といふやうなものは人間の心の中にいつか知らずに芽生えて来るものであります。さういふものを漫画が持つてゐるユーモアに依つて矯正して行くことが出来ないかといふやうなことも考へて居ります。たゞ、をかしくて笑はせればいゝといふだけで、そこに何も教訓的なものは無くてもいゝといふやうな考へ方を排して、そのをかしさ、ユーモアの中に於ておのづと、小さな子供に芽生えてゐる偏狭とか、セツカチとかいふやうなものを矯して行く。子供が非常に面白く繰返しゝ何回となく讀む、子供に取つては非常に親しみの多いものとしてはさういふ方面にも着目して行つていゝのぢやないかと思はれます。それから私の家にも子供が四五人居るのですが、子供のものを覗いて見ましても、どちらかと言ひますと、極く小さな、尋常一二年までのものは男女の性的の別はございませませんが、大

きな子供の讀んでゐる少年俱樂部あたりの漫画になりますと、男子の世界を對象とした方面が非常に多くて、少女の心をアツピールして行くといふやうな意味に於ていゝ漫画が少いんぢやないかと思つて居ります。私も兒童のものを書く一方、女學校の方に今奉職して居ります關係上、絶えず少女の心理とか、少女の讀物などに氣をつけて見てゐるのでございますが、尋常五六年から、女學校に入つた頃の、いろゝゝ知的に目覺めて来てこれから世界がドンノゝ展けて行くといふ大事な年頃の少女、或は又後に母となつて、やがてはその子供を育てる、さういふふくよかな内的要素をいろゝゝ持たなければならぬところの女性に何か指導的になるやうなものを與へて行く、さういふ務をなす漫画といふものは非常に少いやうに思はれるのであります。ですから少女も已むなく男子の方の讀物を讀む爲に、殺伐なものや、チャンバラ風のグロテスクなものに趨つて行つて、折角他の優しいものを讀んで優しい心の芽生えを作つてゐるのを、さういふ漫画に依つてぶち壊され、折角芽が伸びて行く所を摘み取られてしまふ。どうも少女の心をスクゝと伸ばすのを邪魔するやうに思はれる。少女はどちらかと言ふと感情に趨り易く、ものに同情する時であ、なぜ同情しなければならぬかといふやうな理性を以てしないで、直ぐ感情的に動いて、同情したり或は愛したりする氣持があるのですが、漫画に依つても少し少女の心理を豊にし、心に何かふくよかなものを與へるといふやうなことは出来ないか



といふやうなことも日頃考へて居ります。それでこれからの漫画としては、さういふ方面に於ての世界を作つて與へて戴くことも、將來漫画開拓の一つではないかと考へて居ります。

**松前** お父様のお立場、教育者のお立場、いろいろな立場から漫画に對する御見解が、大體に於て出たやうでございます。それで終りに、と申上げては失禮ですが、宮尾先生と池部先生のお考になつて居らつしやる世界、特に漫画についてどういふ取材、どういふ線或はどういふ面で描くとか、或は色彩をどういふ風に塗つたらいいとか、繪と言葉との關係をどういふ風にしたい方がいゝだらうとかいふやうな點について、講談社の繪本ならば斯うだとか、或は發行可能性があるとか、どうか、或は原稿料がどうかいふ現實を全然離れて、宮尾先生或は池部先生がお考へになつて、どういふ漫画なら描いて見たい、どういふ漫画をどういふ風にしたらいいだらうか、といふやうな先生方のお考を一つ述べて戴いて今日の結論にしたいと思ふのでございますが、一つ如何でございませうか。

**池部** 先刻からいろいろ皆さんのお話を伺ひますと、繪描以外の方々の漫画観は、漫画を今後は教育的、指導的方面に利用したいといふやうなことが主のやうに伺ひます。私は漫画を二十一年ぐらゐ描いてゐますが——私は子供の漫画といふものはあまり描きませんが、漫画で教育するといふことは、私は木に縁つて魚を求めらるやうなものぢやないかと思ふのであります。結局漫

畫といふものは馬鹿けたもの、といふことが大事な問題だと私は思ひます。馬鹿けたことがいけないといふならばモウお話にならぬと思ふ。漫画といふものは抹殺するより外仕方がない。たゞ程度問題はあるでせうけれども、馬鹿けたことに多少でも興味を持ち、子供に馬鹿けたこととしてたゞアハハツと笑はせるのも、身體の健康の上に、或は又思想上の健康にそんなに悪いことでない。例へて言へば、大きくなつて洒落の分らぬ男を作るよりも、洒落の分る男を作つた方がいゝぢやないか。馬鹿けたことも萬更悪いことでないと思ふ。子供に駄菓子を食べさせたくないといふやうな御趣意のやうに私は伺ひましたが、駄菓子も萬更悪いものぢやないと思ふ。キャラメルを御飯化しようとするのはいけないが、駄菓子が悪いからと言つて全然食べさせないのどうかと思ふ。悪いものならば無くなるべきものだが、なか／＼世の中から駄菓子は無くならない。寧ろ奨励されてゐる。一例を挙げますと、私共の小さい頃は、蜜豆を食つてはいかぬ、衛生に非常に悪いと言つて非常に叱られた。今日それでは蜜豆が無くなつてゐるかと言ふと、今日は蜜豆は寧ろ子供の領分から大人の領分に入り込んで、デパートの食堂あたりで美しい令嬢や奥さんがドン／＼召上つてゐる。むかしと變つてゐるかと言ふと、やはり寒天と豆、それに蜜が加はつてゐて、別に變つては居ない。結局駄菓子といふものもそんなに否定したものでないと私は考へてゐる。ですから、もう少し子供に駄菓子を食はしてもいい。又子



供は駄菓子を喜ぶのです。若し今駄菓子を食べさせないやうな本を拵へると、恐らく賣れないんぢやないか。教育的、指導的といふことも非常に必要ですけれども、一方に寛大に、駄菓子を食はせるといふことを一つ考へて戴かないと、私はいゝ漫画といふものは非常にむつかしいんぢやないかと思ふ。非常に我田引水的な、皮肉な、氣負つた意見のやうに聞えますけれども私は漫画といふものをさういふ風に解釋して居ります。あまりこれを教育的に利用するといふことは無理ぢやないか。さう言ふと、漫画といふものが此處で抹殺されると大變困りますが、まア私はその程度に考へて居ります。それで大抵私の考は解るでせう(笑聲)。

松前 宮尾先生、一つどうぞ。

宮尾 僕も池部先生の仰しやつたやうなものです、子供に朗かさを持たせるのが、私としては主ぢやないかと思つて居ります。教育的にやるのなら、一つ文部省あたりで漫画の學校を作つて下さるやうに是非お願いしたいと思ひます。これが一番漫画家を向上させる意味に直接にぶつつかつて行くんぢやないかと思ひます。漫画家自身は實際言ふと教育には恵まれて居りませんで、例へば殿様がお城から出て來て町の者に話をしたり、町人がツカ／＼と城中に入つて殿様の膝許にまで行くやうな漫画を描くからいけないといふことになるのですから、是非これは當局の方から一つ漫画家を指導して下さるやうにお願いしたいと思ひます。さうすれば自然

といゝ漫画が出来らんぢやないかと思ひます。

松前 それぢやア、先程西澤先生に先の方の部分を結論づけて戴きました關係上、今度は童畫家の初山先生に童畫家のお立場から、漫画として將來どうあつて欲しいといふやうなお希望でもお話し戴きたいと思ふのでございますが……。

初山 先刻からいろ／＼お伺ひしたのですけれども、一寸此處で一概に言つても結論みたいなものになりはしないし、此處でいろ／＼なお話を聞いてゐると、繪描の立場になつて見たり、保護者の立場になつて見たり、いろ／＼するのですが、今までの過去の功罪は問はないで、今後どういふ漫画がいゝかといふことを此處で言つたら、何か一つの型を打ち立てるやうなことになるりますが、もつと廣い意味での漫画を作るべく話合ふには、もう少し膝突き合せてやるとか或はいゝ漫画を作るには本屋さんがもつと大膽になつて——勿論賣れなくては生きて行けません、たゞ型に嵌まつたやうな漫画でなく、廣い意味で何か一つの大きな建築を造る場合に分業してやるやうに、窓を造る者は窓、ベンキを塗る者はベンキ、といふやうにして行きたいと思ひます。それにはいろ／＼研究も要することだらうと思ひます。繪描きの立場としていろいろ言ひたいこともありますけれども、この邊で……。

松前 まだ十分ばかり時間がございますから、御質問でもお話でも結構ですから、是非この十分



間を御利用戴きたいと存じます。

**金井\*** 子供の漫画に二色のものが大變多いのですが、この色の配合が非常にむつかしいので、どの系統の色とどの系統の色が合ふといふやうなことを、西澤さん、専門家のお立場からチョツピリでも伺はして戴けませんか。

**西澤** 私はあまり實は出版のことに關係が無いので、さういふ經驗を一つも持つて居りませんのですが……。

**波多野** 私は二色の漫画は概して感心しませんネ。出来るならば漫画全體の色調は成可くやはらかい色にして、さうして四色刷或は五色刷——といふやうな漫画は今まで無いやうですれどもさういふ風に普通の繪本と同じくするものを使つてやつて貰つた方がいゝものが出来るんぢやないかと思つて居ります。今までの二色の漫画といふのはグロテスクな感じがしますネ。三色のですと割合にアツサリしていゝですけれどもネ。

**金井\*** 丁度この部屋を借りて居ります時間一パイになりましたので、主催者としてチョットお禮旁々御挨拶を申し上げます。本日はお忙しい所を皆さんお集り下さいますしていろ／＼有益なお話を伺ひまして有難うございました。出版業者と致しましてもいろ／＼な點に於て今後一層氣をつけてこの道に努力して行きたいと思ひます。それにつきましては、今後も時々斯ういふ

座談會を催し、もう少し狭い範圍で専門的なお話を伺ふといふやうな試みも持つて居りますから、今後とも何分よろしく御後援願ひたいと思ふのでございます。今日はまことに不躰なことをいろ／＼お伺ひしたり、又一向お構ひも出来ませんで申譯ございませんでしたが、最後まで熱心にいろ／＼お話を聴かせて戴きましたことを、主催者と致しまして厚く御禮申し上げます。これを以てこの座談會を終りたいと思ひます(拍手)。

**松前** 終りに一言申し上げます。皆様方にどうも随分失禮な御注文や何かして、それに不行届きで失禮しました。尙ほ先刻、波多野先生のキャラメルと仰しやつたのはミスぢやないかと申上げたのは僕がチョット口を滑らしたのですから、あれは先生にお詫申し上げます。

午後四時四十分散會



(大正十五年配布)

子どもの繪本

文部省普通學務局



## 一、繪本の問題

八〇

繪本が子どもの生活に如何に深い意義をもつものであるかといふことは、繪本を見てゐる子どもの様子を見たゞけでも考へられる。あの見つめる目、輝く瞳、われ／＼大人が餘程興味ある本に對する時にも容易にあらはさない熱心さ、である。また、多くの子どもはその氣に入つた繪に對して、實に幾度びも／＼同じものを繰りかへして飽くことを知らない。その集注、その反覆、それが心の奥底まで深い印象を與へない筈はない。單に一時の興味を満足させるばかりでなく、知能の發達や、性格そのものにまで強い影響を與へずには置かない。現に一枚の繪、一冊の繪本が意外な深刻さを以て子どもの生活に作用する喜ぶべき、或はまた恐るべき實例は決して珍しくないのである。若し斯ういふことを少しでも眞面目に考へるならば愛兒が平生如何なる繪本に親しんでゐるか、といふことは假りに、うっかりしてゐられない譯である。しかるに、實際に於ては随分不注意に看過されてゐる。甚しきは、ほんの一時の氣まぐらし位に考へて、手あたり次第如何がはしいものを平氣で子供にあてがつたりしてゐる。それも社會に善良な繪本が多いのなら心配すべきでないが作る人も賣る人も、子どもへの深い影響など、まるで無關心な不都合なのが少くない。勿論中にはよく注意されたものもあるが、低級粗惡のものほど却つて普及し易くて

良いものが世に行はれずにあたりする。作るもの不用意、買ふもの不用意では、いつまでたつても損害は子どもばかりが蒙つてゐなければならぬ。實に此のまゝには、捨て置かれぬ大切な問題である。

## 二、繪本の要件

しからば、如何なる點を、子ども繪本の要件として注意すべきか。

### 第一 藝術的でなければならぬ

繪本が藝術的でなければならぬとは、餘りに當然過ぎたことであるが實際は屢々此の要件が輕視せられてゐる。時には、子どものものといふ輕蔑から、初めから此の點が無視されてゐることさへある。又、教育的といふことをのみ考へて、繪そのものとしての藝術的價值を、第二位にも第三位にも置き忘れてゐることもある。しかし、繪本の眞價は、どこまでも繪にあり、繪畫たる以上藝術としての價值を要件外に置くことは出來ない。その繪本が純粹な美的陶冶を目的としてゐる場合はいふまでもない。さうでない場合であつても繪本は一切の効果は其の藝術力を以て發揮するものである。勿論、藝術的といふにも段々の性質があり、また子ども繪本として内容を主としなければならぬ事もあるが、要するに美を離れて繪本の存在はないのである。藝術的要件と



しては繪の巧拙ばかりではない。色彩が正しい美の條件に合するものでなければならぬ。蓋に濃厚強烈な色調と、低級醜惡な配合とを以て子ども向きと考へられたりしてゐるが、繪本として自ら侮ること甚しいものであり、また、子どもの趣味性の上に及ぼす害毒は實に恐るべきものである。

### 第二 道徳的に健全でなければならぬ

道徳的といふは必ずしも修身の教訓といふ狭い意味ではない。それも勿論大切のことであるが子供繪本として自由に廣い題材が取り扱はれてゆく中に於て、全體の標準が道徳的に健全であることを要件とするのである。時には、子どもの興味本位に墮して卑俗な本能的劣性に刺戟を與へるやうなことも材料にしたり、(舊式の不良繪本に多い)時には、形や線や色や描寫の様式が病的であつたりする(所謂現代式のものに往々ある)のがあるが、子どもに適するものでない。滑稽といふことは子どもの生活を明るくする効果に於て眞實には極めて健全のものであるけれども鋭過ぎる諷刺、穿ち過ぎる皮肉の類は、屢々、子どもらしい健全さを脱するものである。又、往々にして他の弱點を弄するといふ風の、卑しい笑ひ方になつては道徳的といふことが出来ないのである。情緒的纖細といふことは子どもとしても道徳的なことであるけれども、餘りに感傷的に流れて子どもらしい單純さを失つたりするに至つては、健全といふことが出来ない。想像といふこ

とは、子どもの貴重な精神能力であつて殊に繪本の取材としては、そこに豊富な領域があり、興味の活きて動く大きな力となるものであるけれども、徒に架空のための架空を弄んで、子ども相當の條理をみだるに至つては、之亦健全といふことは出来ない。滑稽と情緒的纖細と想像との三つは子ども繪本の主要素であるだけに、其の健全性の要件から、特に、注意を要することが多いのである。

### 第三 友誼的でなければならぬ

藝術的とか道徳的健全とかいふことを擧げると何かしら堅くらしい品ぶつた感じが起るのであるが繪本は其の本質に於て、子供の友達であるから、親しみ、なじみ易いといふことは、缺くことの出来ない要件である。之が爲には内容としても、子どもに適する以上に、子どもをらくにし幸福にするものでなければならぬ。その點が繪本と普通の教科書との違ひである。教科書は教授しようとし、教訓しようとする。繪本も極く廣い意味に於て、同じ目的をもつこともあるけれども、子どもへの直接の觸れ方としては、さうした上から教育されるやうな心持を子どもに感じさせるものであつてはならない。殊に幼い子どもが繪本に對する態度は自分の豫々有してゐる世界を、その繪の中に見出して喜ぶのであつて、別に新しいものを求めてゐるのではない。謂はゞ自分の觀念なり感情なりが表現されてゐることに満足し、安心し、喜悅するのである。即ち、わ



れくになり、電車なり、人形を抱く子なり、畫中の形態と、心得とに、親しい交りを樂しむのである。而して、繪本の最も眞實な教育効果も、亦實にこゝにあるのである。稍大きい子供になれば、好奇心とか、求知心とか、多少違つた態度をもつて、繪本に接して來るが、それにしても氣のおけない友達仲間として對するので、敢て學ぼう、教へられようといふ關係ではない。従つて假りにも、さうした教師らしい趣きを露骨にあらはしてゐるものは、すぐに子供に嫌はれる。謂はゞ敬遠される。繪本としての眞の教育的役目をも、決して實現し得るものでない。しかも、友誼的であるからには、子どもの御機嫌をとり、子どもにおもねるものであつてもならぬ。子ども繪本のもたなければならぬ親しさ、しかも眞面目さは此の要件から出づることである。之れは内容に止まらない。繪本の體裁などに就ても考慮せらるべきことである。

#### 第四 多方面でなければならぬ

以上は一冊くの繪本に就ていつたことであるが、更に繪本全體としては、子供の生活に對して、一方に狭く偏することのないやうにしなければならぬ。つまり子どもの、心的欲求の各方面を満足させ、心的發達の各方面を助けなければならぬのである。勿論其の範圍は年齢によつて違ひ、性質によつても異なるのであるが、繪本としては、多面的に用意せられ、又つとめて供興せられなければならぬ。假へば一方に純興味的のものがあると共に、教訓的意味のものもあり

一方に人文的のものがあると共に、科學的のものもありといふ風でありたい。又國家的取材があると共に、國際的取材があるといふやうにする注意も必要である。之れは社會としては、繪本供給の上を意を用ふるべきことであるが、愛兒のために選擇する上にも肝心な心がけである。殊に我國に於ては、繪本の數の多い割に同じ様のものが多く、孰れかといへば趣味方面に偏して、科學的興味を主にしたものが少い。科學的といつて、理科教科書でないことは勿論であるが、子ども繪本として、自然界理化の世界などの正しい興味を與へることも、是非必要なことである。而して、科學的取材の場合にはそれが簡略のものであつても、誤謬のないものでなければならぬことは、之亦一つの要件である。

#### 第五 衛生的でなければならぬ

更に全く別方面の要件として、繪本が子どもの眼のために必ず衛生的であるべきことを注意されなければならぬ。此の爲には、用紙の光澤印刷の鮮明、色彩の強度、併用する活字の大小などが、第一に挙げられる。之れは、作製者の方で充分用意しなければならぬことであるが、選擇者の嚴重なる注意によつて不良の出版を絶滅させるやうにしたい。他の要件に就ては、或は急に、理想的實現が容易でないかも知れないが、此の改善は最も簡單に行はれるものである。如何に効果の多い繪本も、ために愛兒の眼と、神經に無理な疲勞を與へることは甚だ遺憾なことである。



昭和十三年秋

兒童讀物、並に繪本に關する

# 內務省指示事項

內務省圖書課



### 廢止スベキ事項

八八

#### 一、活字

(1) 六號及ビ八ポイント以下ノ活字ノ使用―但シ幼兒向ノモノニアリテハ十二ポイント以上タルコト

(2) 振假名ノ使用―但シ特殊ノモノ、固有名詞ハコノ限りニ非ズ

#### (注意)

(1) 右ノ廢止ニ因リ行間ヲ詰メルコトナキヤウ注意スルコト

(2) 色刷ノ上ニ印刷スル場合ニ於テハ特ニ活字ノ大キサ、色彩ノ配合ヲ注意スルコト

#### 一、懸賞

何等實質の内容ヲ有セズ、専ラ營業政策上ニ利用セルモノ

#### 一、廣告

(1) 誇大ナル自家廣告ノ掲載

(2) 宮家献上又ハ御買上ノ記事ノ掲載

(3) 顧問、贊助員ノ列記

(4) 誇大ナル豫告ノ掲載

(イ) 次號豫告

(ロ) 連載豫告等

#### 一、附録(オマケ)

#### 一、卑猥ナル挿畫

一、卑猥俗惡ナル漫畫及ビ用語―赤本漫畫及ビコノ種程度ノモノ一切

一、極端ニ粗惡ナル繪本―實物ト餘リニカケ難レタルモノ、餘リニ粗惡ナル色彩ノモノ等

一、内容ノ野卑、陰慘、獵奇的ニ涉ル讀物

一、過度ニ感傷的ナルモノ、病的ナルモノ

其ノ他小説ノ戀愛描寫ハ回避シ、「驅け落ち者」等ノ言葉ハ少年少女ノ小説ヨリ排スルコト

### 編輯上ノ注意事項

一、教訓的タラズシテ教育的タルコト

一、年齢ニ依リソノ教化及用語ノ程度ヲ考慮スルコト

(1) 五、六才前後ノモノ―(イ)繪ハ極メテ健全ナルモノタルコト

八九



(ロ) 童話ハ題材ヲ自然ノ凡ユルモノニ求メテ、空想的ニシテ詩情豊カナルモノ

特ニ母性愛ノ現ハレタルモノタルコト

十才以上ノモノ——將來ノ人格ノ基礎ガ作ラレル最モ大切ナル時代ナルヲ以テ、敬神、

忠孝、奉仕、正直、誠實、謙讓、勇氣、愛情等日本精神ノ確立ニ資スルモノタルコト

又生産ノ知識、科學知識(空想デ有ツテハナラナイ)ヲ與ヘルモノヲ取入ルコト

(2) 用語ハ年齢ニ從ツテ漢字ヲ用ヒ、教科書ノ範圍ヲ出デザルコト

一、編輯ノ單純化ヲ計ルコト——例ヘバ活字ノ配合、色彩ノ單純化、記事面ト廣告面ノ區別等

一、掲載記事ニ對シテ比例制度ヲ確立スルコト——漫畫、小説、記事等ノ割合

一、假作物語ヲ制限スルコト——現在ノ半數以下ニ減ジ、且ツソノ假作物語中ノ時代小説ノ幾篇カヲ小國民ノ生活ニ近イ物語又ハ日本國民史ヨリノ建設的ナル部分ニ取材セルモノト代ヘ又冒險小説ノ幾篇カヲ探險譚、發見譚ノ如キモノニ代ヘルコトヲ考慮スルコト  
尙コノ減頁ニ依ツテ得タル頁ヲ左ノ如キ記事ニ充ツルコト

(イ) 科學的知識ニ關スルモノ——從來ノ自然科學ソノモノヲ誠實ニ興味深ク述ベタモノ以外

ニ科學的知識ヲ啓發スル藝術作品ヲ取上グルコト(例ヘバ、爆彈、タンク、飛行機等ノ如キモノニシテモ、ソレ等ノモノノ持つ機能ヤ本質ニ觸レ得ルテーマノモトニ取扱フコト)

以上ノ他、地理、風俗等ニ關スルモノモ取入ルルコト

(ロ) 歴史的知識ニ關スルモノ——忠臣、孝子、節婦等ノ傳記モノハモトヨリ國民全體又ハ一

ツノ集團ノ困難、奮闘、發展等ヲ叙シタルモノ、即チ國民史的記事ヲ取上グルコト

(ハ) 古典ヲ平易ニ解説セルモノヲ取上グルコト——但シ兒戲ノ讀物ニ適スルモノタルコト

一、漫畫ノ量ヲ減ズルコト——特ニ長篇漫畫ヲ減ズルコト

一、記事ハ可及的ニ専門家ヲ動員スルコト——科學記事ハ科學者ニ、基礎的經濟思想(經濟知識ニ非ズ)ハ經濟學者、實業家ニ等

一、華美ナル消費面ノ偏重ヲ避ケ、生産面、文化ノ活躍面ヲ取入ルルコト

一、子供ノ質疑ヲ本格的ニ取扱ヒ生活化スル工夫ヲ計ルコト

一、幼年雜誌及ビ繪本ニ「母の頁」ヲ設ケ、「讀ませ方」「讀んだ後の指導法」等ヲ解説スルコト

一、事變記事ノ扱ヒ方ハ、單ニ戰爭美談ノミナラズ、例ヘバ「支那の子供は如何なる遊びをする



か「支那の子供は如何なるおやつを喰べるか」等支那ノ子供ノ生活ニ關スルモノ又ハ支那ノ風物ニ關スルモノ等子供ノ關心ノ對象トナルベキモノヲ取上ゲ、子供ニ支那ニ關スル知識ヲ與ヘ以テ日支ノ提携ヲ積極的ニ強調スルヤウ取計ラフコト。從ツテ皇軍ノ勇猛果敢ナルコトヲ強調スルノ餘リ、支那兵ヲ非常識ニ戲畫化シ、或ハ敵愾心ヲ唆ルノ餘リ支那人ヲ侮辱スル所謂「チャンコロ」等ニ類スル言葉ヲ使用スルコトハ一切排スルコト

一、挿畫漫畫ニハ責任者ノ名ヲ明記スルコト

以上ハ子供雜誌ヲ基準トシテ立案セルモノナルガ、單行本、漫畫專門雜誌等ニ就テモ右ノ方針ニ準ジテ取扱フコト

昭和十四年 七月十五日印刷  
昭和十四年 七月二十日發行

(非賣品)

著者 日本兒童繪本  
出版協會

右代譯者 金井英一

東京市下谷區御徒町三ノ八二

發行者 鈴木吉平

東京市小石川區大塚下町一三六

印刷者 内田柳次郎

東京市小石川區大塚下町一三六

印刷所 秀錦社

東京市下谷區御徒町三ノ八二  
泰光堂内

發行所 日本兒童繪本  
出版協會





終

